

2025年3月期 第2四半期

決算説明資料

2024年10月28日



決算ハイライト

売上・利益ともに過去最高。前年同期比売上高 **28.3%**増、営業利益 **419.4%**増

- 生成AI向けGPUクラウドサービスの提供開始※やクラウドサービスの成長により、大幅な増収増益を達成
※ 2024年8月には第1次投資計画分「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」約2,000基の収益化達成

更なるGPU基盤の早期整備に向けた**追加投資を決定**

- 旺盛なAI開発需要を背景に受注状況が好調。第2次投資計画（1,000億円規模）を前倒し、H100:800基の追加投資を決定（9月）
- B200搭載サーバ納品までの需要に対応すべく、H200:1,072基及びH100:40基の更なる追加投資を決定（10月）
生成AI向けGPU基盤の一層の強化を図る※業績予想への影響は現在精査中

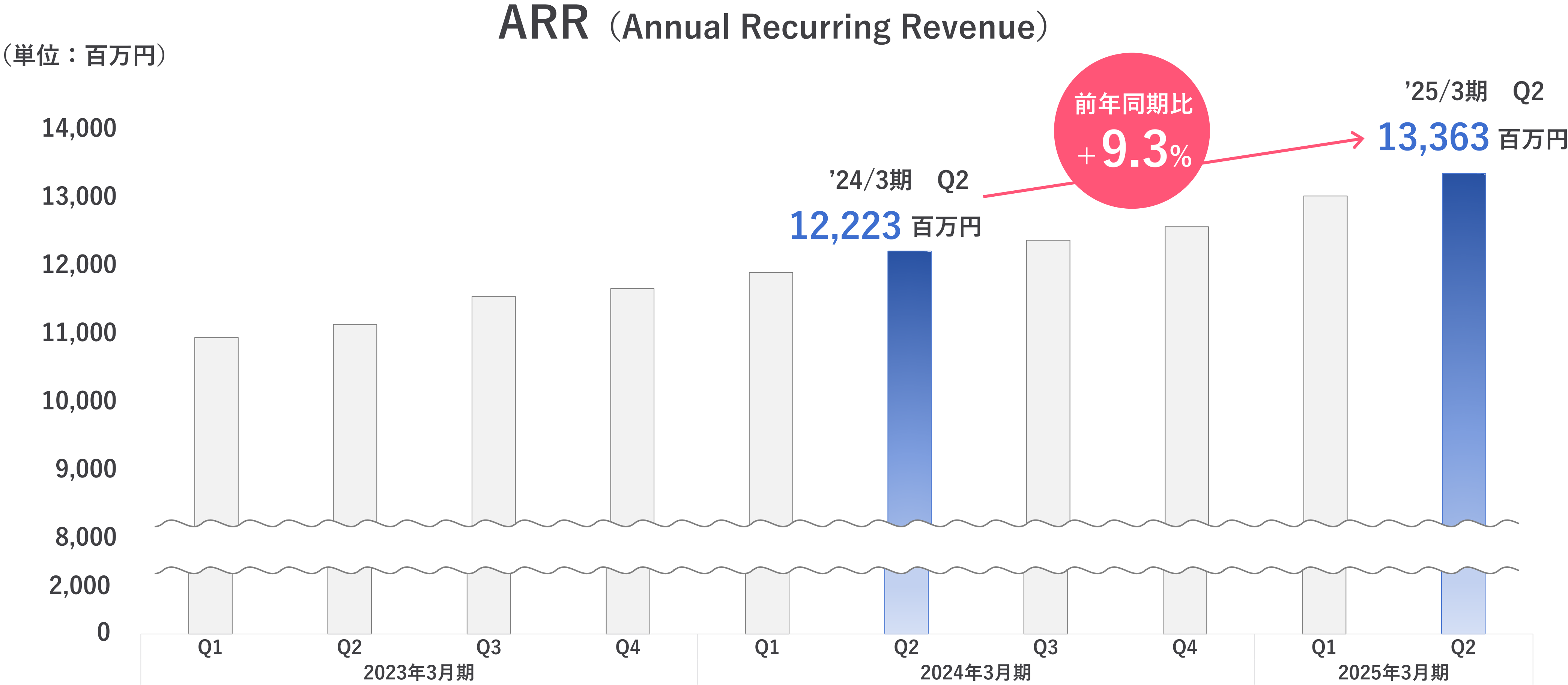
製品名	GPU数量	金額	決議日
NVIDIA H100 Tensor コア GPU	800基	68億円	2024年9月30日
NVIDIA H200 Tensor コア GPU	1,072基	84.3億円	2024年10月28日
NVIDIA H100 Tensor コア GPU	40基	2.6億円	2024年10月28日

GPUクラウドサービス約2,000基の収益化達成と
クラウドサービスの好調な売上推移により、上期の売上・利益ともに過去最高

- 2024年8月には第1次投資計画分「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」 約2,000基の収益化達成
GPUクラウドサービス売上は2,018百万円、クラウドサービス売上は6,820百万円（前年同期比9.0%増）
 - 人材採用は進捗率61%と好調。クラウドサービスの機能開発強化や販売促進の取り組みが加速
（前期末より連結従業員数88名増加、年度内入社予定採用人数122名）
 - GPUクラウドサービスの提供開始に伴い減価償却費、電力費等が増加
- (金額：百万円)

科目	'24/3期 Q2	'25/3期 Q2	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率 (%)
売上高	10,343	13,271	2,928	28.3
営業利益	249	1,295	1,046	419.4
経常利益	172	1,102	929	538.2
親会社株主に帰属する 中間純利益	175	710	534	305.4

ストック型収益を示すARRは前年同期比**9.3%**増

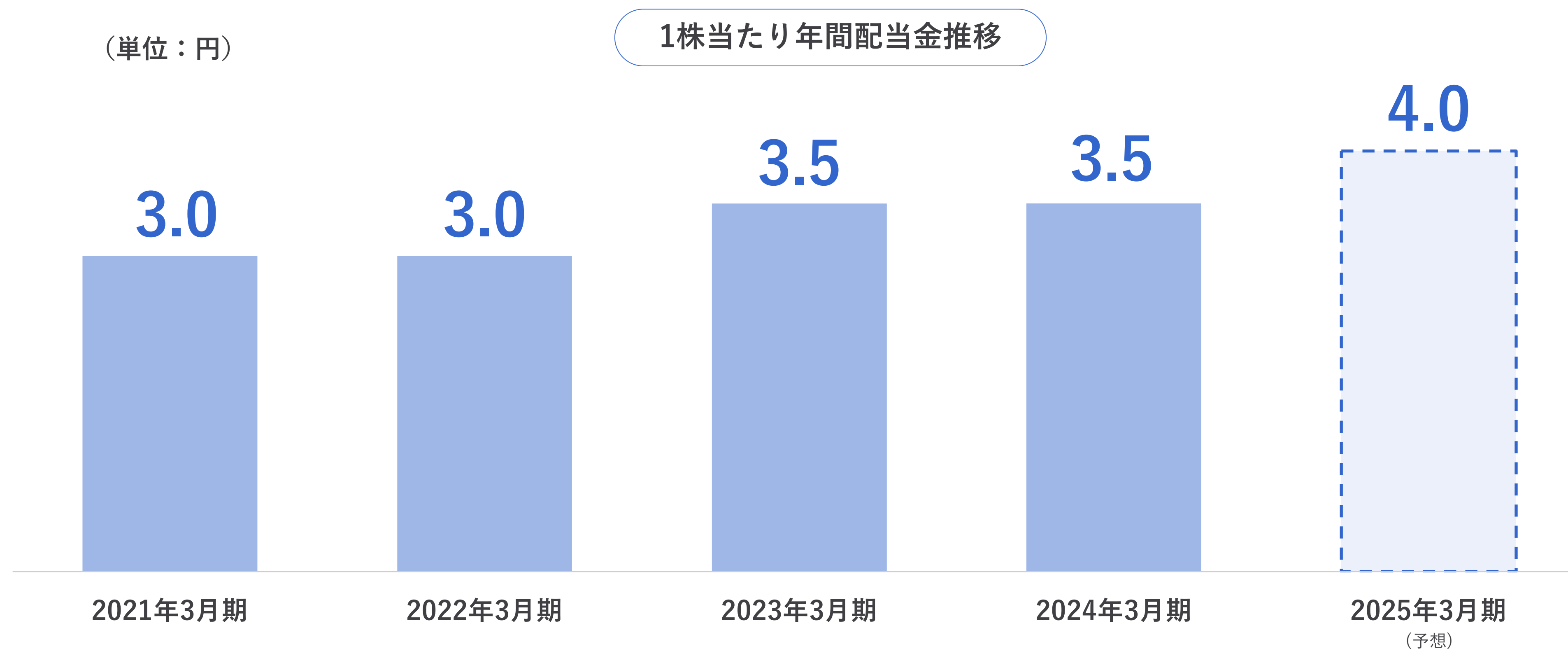


※集計対象サービスは、さくらインターネット単体のクラウドサービス、VPSサービス、レンタルサーバサービスとなります。
※クラウドサービスは従量課金制ですが、定額制サービスの集計方法に沿って算出しております。
※ARR（Annual Recurring Revenue）：各期末のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。継続課金による年間収益で、売上高とは異なります。

配当に関する基本方針

持続的成長と収益力確保のため、一定の原資を内部留保するとともに、業績の進展状況に応じた株主の皆様に対する利益還元を両立させることを基本方針としています

- **2025年3月期の配当予想**：上記基本方針に基づいて総合的に検討した結果、3円50銭から50銭増額し、1株あたり4円00銭に増配



「『やりたいこと』を『できる』に変える」という企業理念のもと
デジタル前提の社会づくりを支える事業活動を通じて、環境・社会への貢献を行ってまいります

Environment

Topic 石狩データセンター
年間CO₂排出量ゼロを実現

- 石狩データセンター
 - ・北海道の寒冷な空気を利用した外気空調で消費電力を大幅削減
 - ・水力発電を中心とした再生可能エネルギー電源を100%利用し、二酸化炭素(CO₂)の年間排出量ゼロを実現

Social

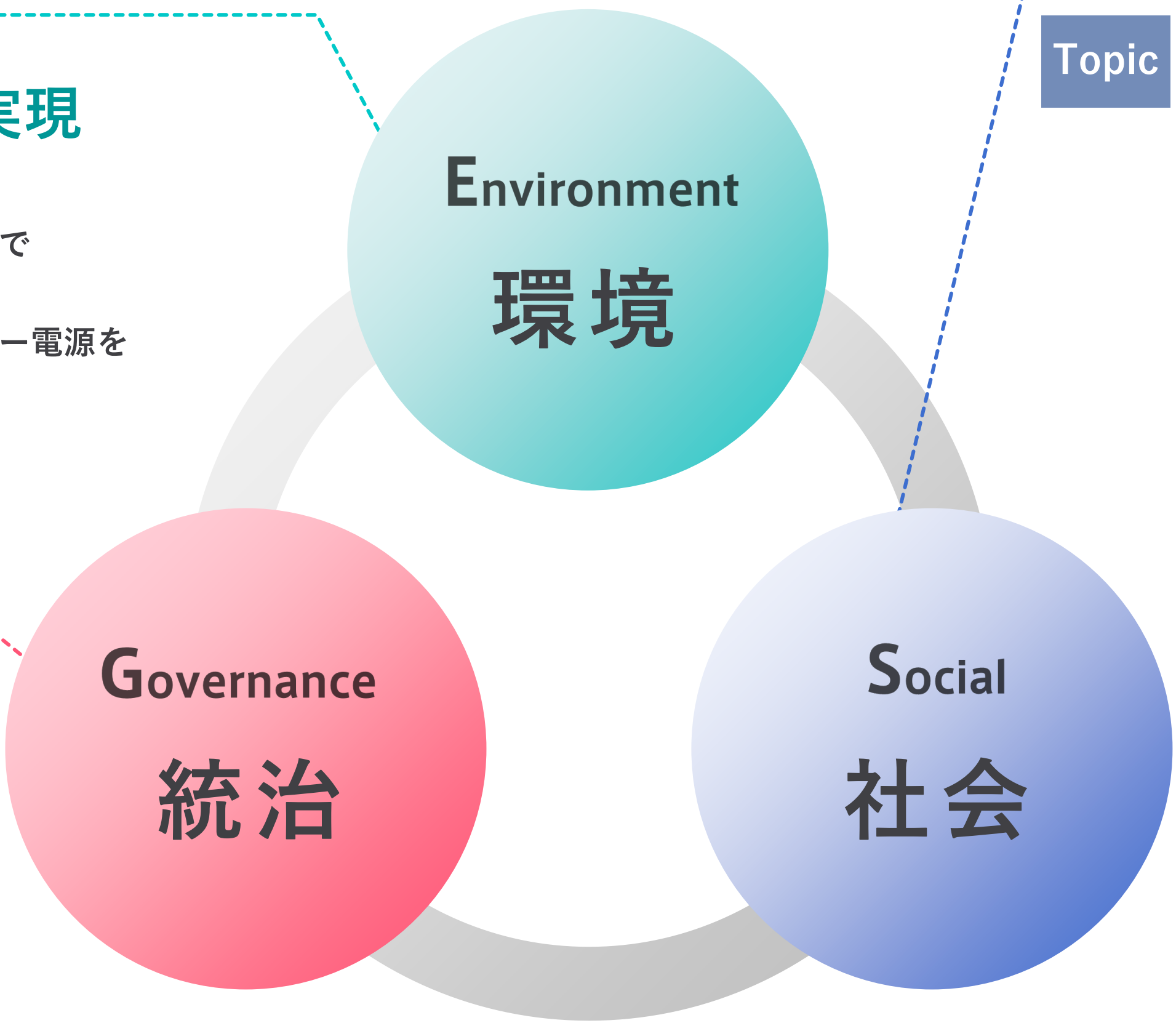
Topic オープンイノベーションの創出を
目的とした拠点を大阪に新設
(2024年9月)

- スタートアップ支援や人材育成など次世代の育成支援を推進
- デジタル分野の人材育成と、ITを活用した社会課題の解決を推進
- 人的資本経営の実践
 - ・ 学びと実践のサイクル
[人材育成と学び合う文化づくり]
[チャレンジとリーダーシップ]
 - ・ 多様な人材が集い挑戦する機会の提供
[多様な人材の活躍推進]
 - ・ 安心して長く活躍できる基盤づくり
[心と体の健康]
[フレキシブルな働き方]

Governance

Topic 執行役員を含む
女性役員比率：25.0%
(2024年9月30日時点)

- コーポレート・ガバナンスの強化
 - ・ 社外役員、独立役員の選任
 - ・ 女性役員比率向上による多様化
- 情報セキュリティの維持・向上



2025年3月期 第2四半期 連結業績

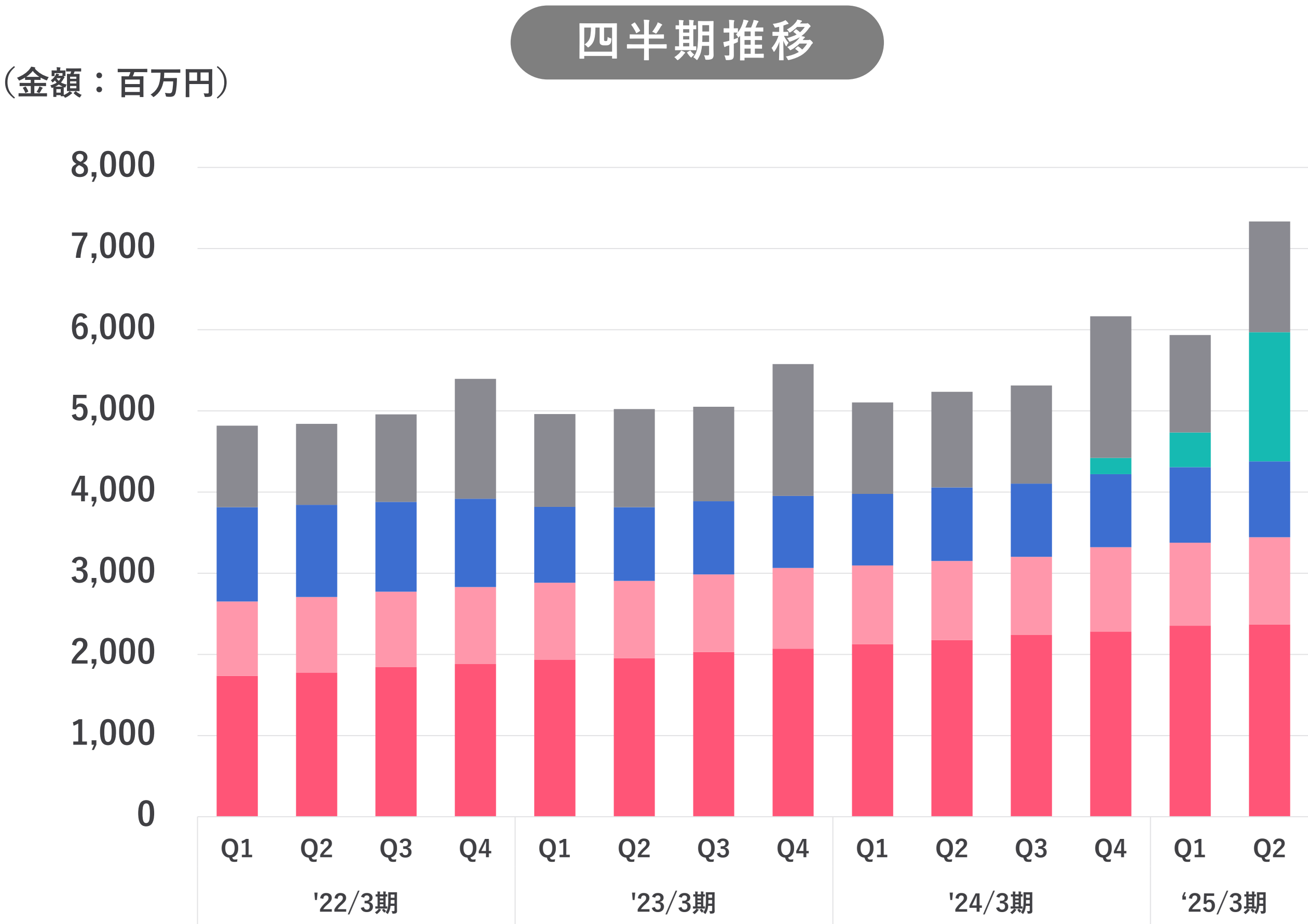
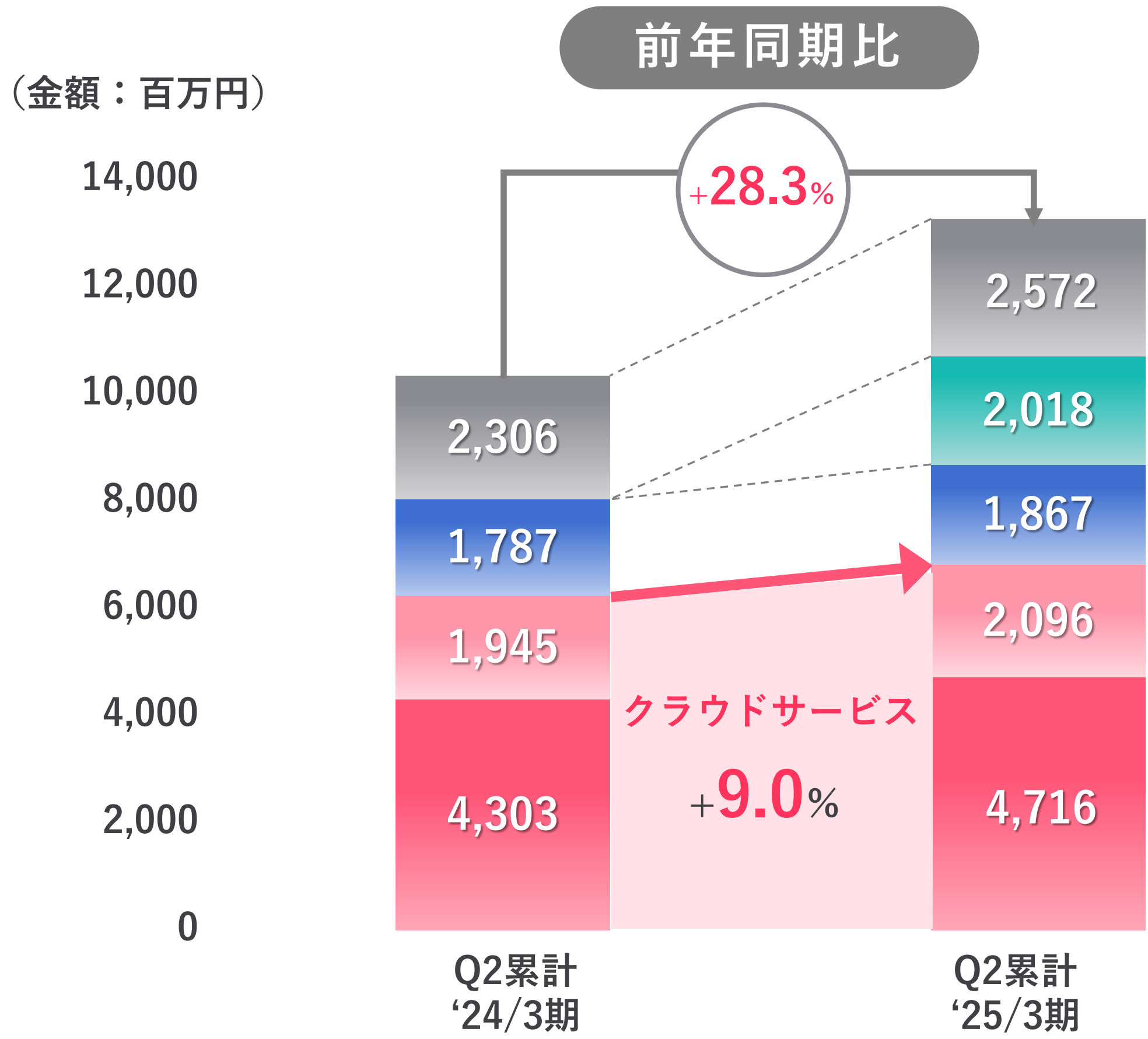
GPUクラウドサービスの提供開始等により前年同期比売上高 **28.3%** 増
成長戦略の実践に向けた**人材投資**や**GPUクラウドサービス向けの投資**を積極実施

(金額：百万円)

科目	'24/3期 Q2		'25/3期 Q2		前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	10,343	100.0	13,271	100.0	2,928	28.3
売上原価	7,703	74.5	8,922	67.2	1,218	15.8
売上総利益	2,639	25.5	4,349	32.8	1,709	64.8
販管費	2,389	23.1	3,053	23.0	663	27.8
営業利益	249	2.4	1,295	9.8	1,046	419.4
経常利益	172	1.7	1,102	8.3	929	538.2
親会社株主に帰属する 中間純利益	175	1.7	710	5.4	534	305.4

(注) 特別利益として国庫補助金等収入3,709百万円を、特別損失として固定資産圧縮損3,709百万円をそれぞれ計上しております。
なお、資産圧縮したことにより、以降の減価償却費が軽減されます。

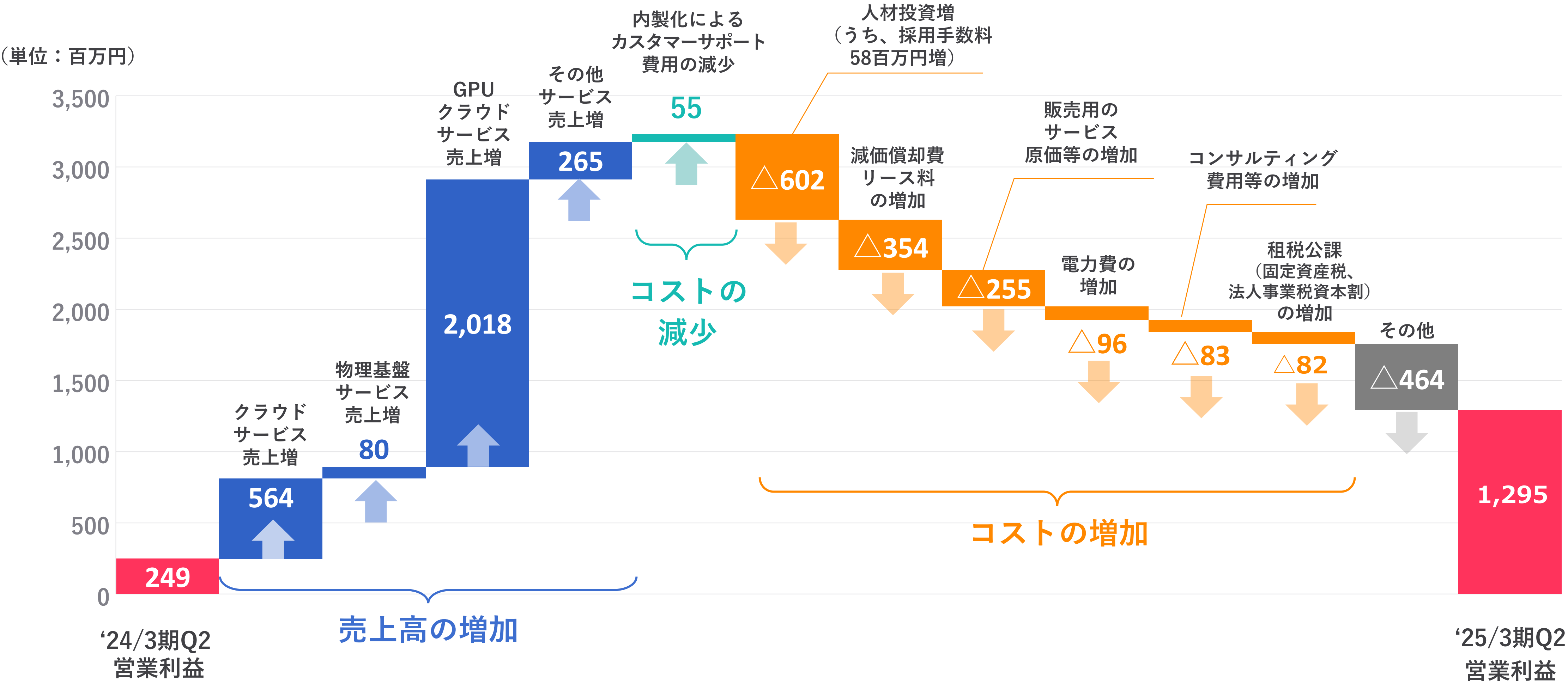
生成AI向けGPUクラウドサービスの提供開始（売上高：2,018百万円）とクラウドサービス（+9.0％）の成長により全体で前年同期比28.3％増



クラウドサービス ■ クラウドインフラストラクチャー ■ クラウドアプリケーション ■ 物理基盤サービス ■ GPUクラウドサービス ■ その他

※2025年3月期より新たに「GPUクラウドサービス」のサービスカテゴリを追加したことに伴い、2024年3月期Q4の数値を組み替えております。

営業利益の変動要因



- 公募による新株発行に伴う現預金と資本金、資本剰余金の増加
- GPUクラウドサービス等のサービス機材投資の実施とそれに伴う借入金の増加

(単位：百万円)

科目名	前期末 (‘24/3期)	当期Q2末 (‘25/3期)	増減額
流動資産	10,574	38,515	27,941
固定資産	19,650	23,741	4,090
（有形固定資産）	16,656	20,403	3,747
（無形固定資産）	505	688	182
（投資その他資産）	2,488	2,649	161
資産合計	30,224	62,257	32,032

科目名	前期末 (‘24/3期)	当期Q2末 (‘25/3期)	増減額
流動負債	10,598	20,925	10,326
固定負債	10,304	13,370	3,065
負債合計	20,903	34,295	13,392
純資産	9,321	27,961	18,640
（うち、株主資本）	8,989	27,702	18,713
負債純資産合計	30,224	62,257	32,032

- 営業CF：グループ会社の大口案件用たな卸資産の増加による減少
- 投資CF：GPUクラウドサービス用機材に対する助成金の入金による増加
- 財務CF：株式の発行による収入、およびグループ会社の大口案件用借入による増加

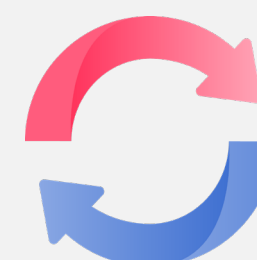
(単位：百万円)

項目	'23/3期Q2	'24/3期Q2	'25/3期Q2	前期比増減額
営業CF	1,218	1,377	487	△889
投資CF	△202	△775	317	1,092
FCF	1,016	601	804	203
財務CF	△1,774	△927	23,581	24,509
現金等の増加額	△757	△326	24,385	24,712
現金等の残高	4,695	4,483	29,648	25,165

※FCF＝営業CF＋投資CF

事業概要

成長戦略の実践



成長戦略を支える基盤強化

幅広いターゲットに向けGPUクラウドサービスを拡充
認知度向上を追い風にクラウドサービスの販路拡大

- 生成AI向けクラウドサービス第2弾のコンテナシリーズ「高火力 DOK（ドック）」に「NVIDIA H100」をラインアップ（8月）
- 防衛装備庁と約7.5億円の役務請負契約を締結（7月）、ガバメントクラウド認定事業者として地方自治体向けのフォローアップを積極的に実施。認知度の向上により民間企業からの問い合わせが増加
- 「さくらのクラウド」のセールスパートナーの登録企業は9月末で50社と想定を上回った。また、クラウドサービスの検定制度「さくらのクラウド検定」を開催するなどエコシステム構築に向けた取り組みを加速

採用活動は好調に進捗し体制強化を加速
旺盛なAI需要に応え、デジタルインフラの強化に注力

- 今期中200名規模の増員を目指し、単体では採用の進捗率61%（122名※年度内予定を含む）と好調。優秀人材の採用に注力し、外資系大手IT企業出身者等の高スキル人材も獲得。新たな文化・価値を形成し、変化と成長を加速
- 生成AI向け基盤への旺盛な需要に応えるため、GPU基盤調達に対する合計154.9億円の追加投資を決定（9月、10月）。迅速なサービス提供に向け、今期中に第1期コンテナ型データセンターを竣工予定
- エクイニクス・ジャパンと戦略的パートナーシップを開始。GPU基盤をタイムリーに提供するとともに、将来的にアジア地域におけるクラウドビジネスの拡大を目指す

幅広いターゲットを取り込むため、より小規模なユースケースや
予算規模の顧客層向けのサービスラインアップを拡充

● 生成AI向けGPUクラウドサービス「高火力シリーズ」

提供時期	サービス名	特徴	ターゲット
2024年1月	高火力 PHY (ベアメタル)	● 「NVIDIA H100」を搭載した物理的なサーバーを丸ごと一台提供するサービス ● より高性能なGPUで複雑なデータセットの解析や大規模モデルのトレーニングに	大企業（メーカー等）やAIメガベンチャー、研究機関
2024年6月	高火力 DOK (コンテナ)	● 「NVIDIA H100」でDockerイメージの実行ができるコンテナタスク実行サービス ● 生成AIや機械学習に最適なGPUを初期費用なし、秒単位課金で提供	安価かつスポットでNVIDIAのGPUを利用したいユーザー
今期中 (予定)	高火力 VM版	● NVIDIAのGPUを搭載した物理サーバー上で複数の仮想サーバを構築しそのひとつひとつをお客様に提供するサービス ● 生成AIや機械学習に最適、高性能なGPUを時間単位で提供	機械学習のスポット利用や、AIアプリケーション開発者

取り組み内容

- 高性能なGPUを利用可能な生成AI向けクラウドサービス「高火力シリーズ」は再生可能エネルギー電源100%のCO2排出量ゼロを実現する石狩データセンターで提供
- 大企業やAIメガベンチャー、研究機関だけでなく、AIアプリケーション開発者や機械学習のスポット利用者など、計算資源を提供し多様なニーズに応えるラインアップの拡充を図る

ガバメントクラウド正式認定に向け順調に前進
国産クラウドとして中央省庁案件の受注等、新たな実績を積み上げる

2025年度末の正式認定に向け順調に前進

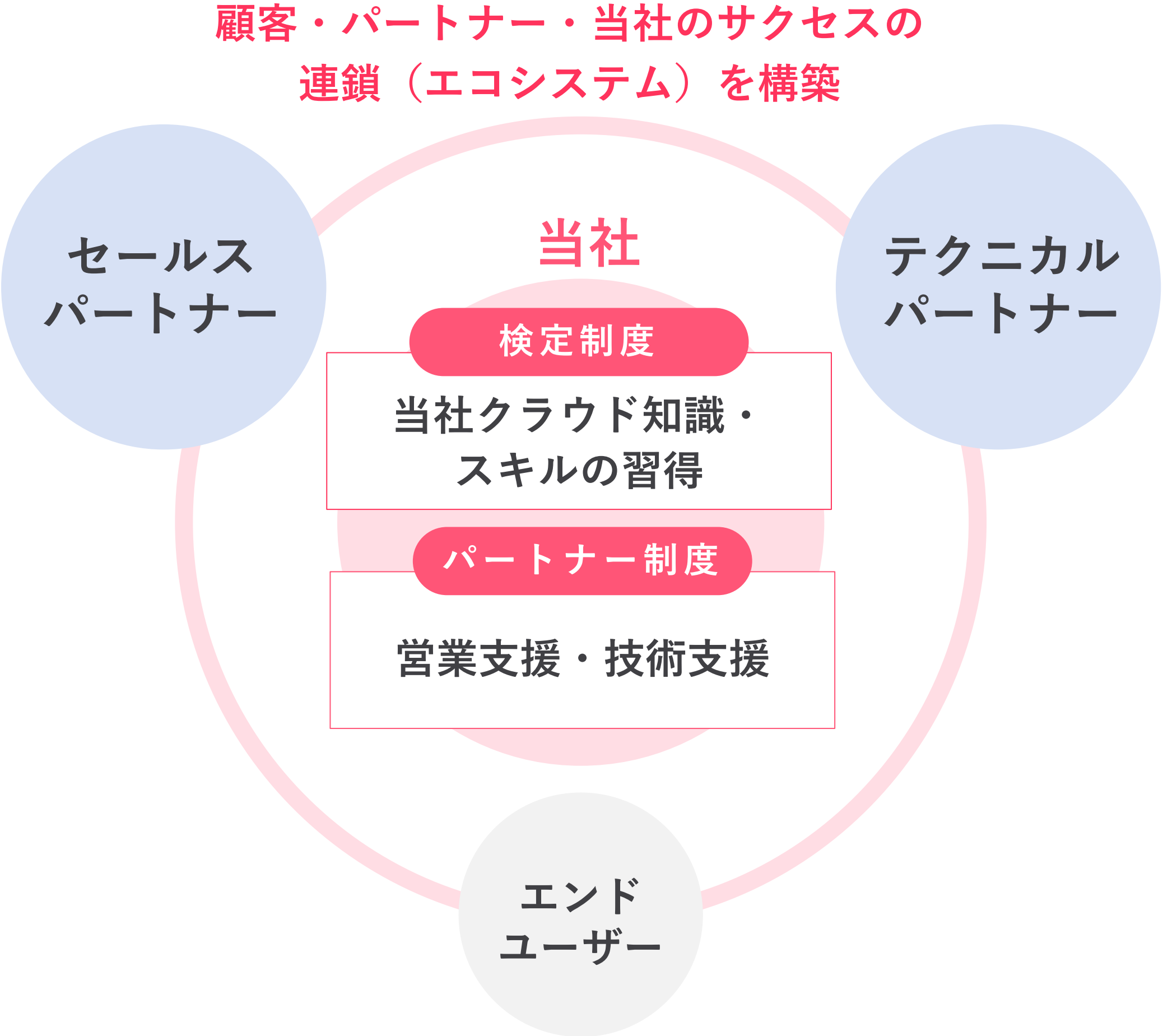
- 各官公庁や自治体出身の人材をチームに迎え、
営業体制を強化
多くの公共機関が同時期に移行するため、ITリソースや自治体職員の逼迫が懸念されるが、勉強会やイベントでの情報発信を積極的に行い、国やデジタル庁の方針、周辺のガイドラインを踏まえた提案が行える体制を整備
- 「さくらのクラウド」の技術水準向上や、既存事業・
業務プロセスの変革に資する高スキル人材を確保
外資系大手IT企業などから経験豊富なエンジニアが複数名入社。2025年度末までの「さくらのクラウド」のガバメントクラウド正式認定にむけ、技術要件充足のための開発を推進

防衛装備庁と約7.5億円の役務請負契約締結

- 防衛装備庁と「サプライチェーン調査に必要な役務の提供等」についての役務請負契約を締結（7月）
 - ・ 防衛産業による装備品等の安定的な製造等を確保するため、防衛産業のサプライチェーンについて、安定的な製造等に係るリスクを把握し、必要な対応を図ることが目的
 - ・ 防衛省が実施するサプライチェーン調査に使用するクラウドインフラとして、IaaS型パブリッククラウド「さくらのクラウド」が採用

公告件名	サプライチェーン調査に必要な役務の提供等
発注者	防衛装備庁
落札金額(税込)	754,523,440円
入札方式	一般競争入札
サービス提供期間	2024年10月1日～2029年3月31日

啓蒙活動・教育支援を通じて、顧客のDXを推進
パートナー・検定制度を開始、エコシステム構築に向けた取り組みを加速



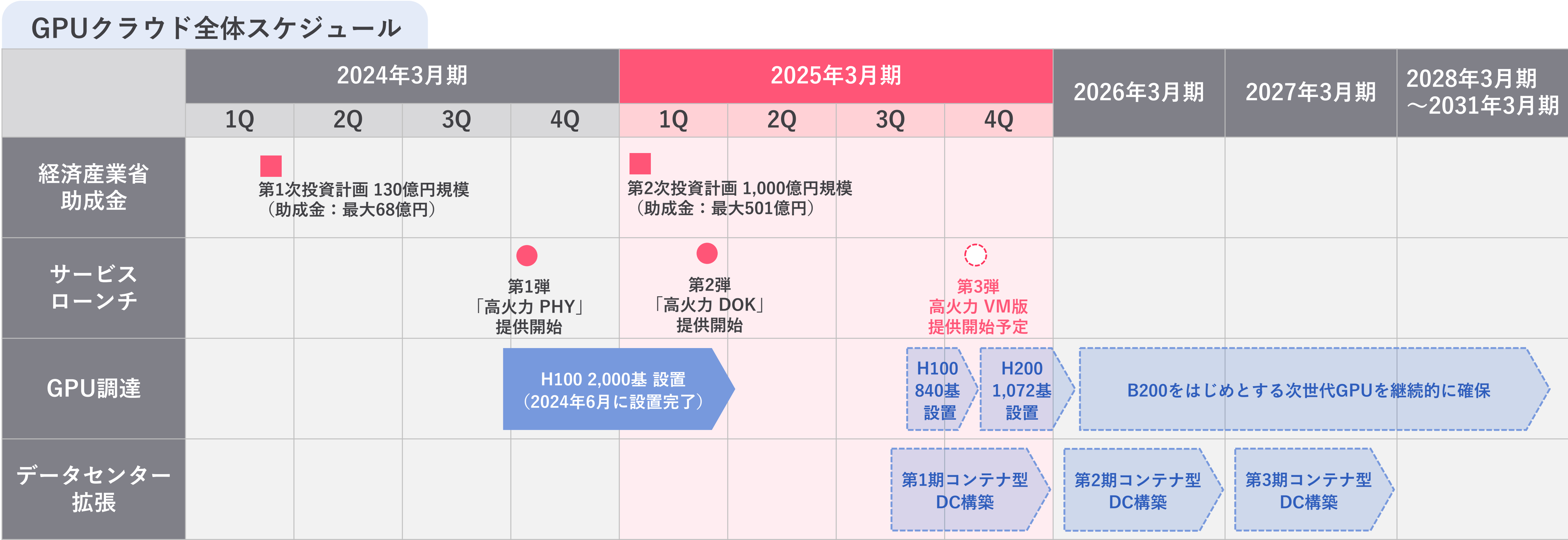
取り組み内容

- さくらのクラウド検定を開始
デジタル技術や当社のクラウドサービスの知識を測る検定制度「さくらのクラウド検定」を開始。資格制度を通じて、当社クラウドサービスの知識・スキルを習得したパートナー・クラウドエンジニアを増やし、将来の顧客開拓につなげる
- 多数のセールスパートナーを獲得
今期50社を超えるセールスパートナーを獲得、拡販だけでなくパートナーサクセスを前提としたオンボーディングや「さくらのクラウド」の技術/営業について教育支援を実施している。また、利用件数56万を突破した「さくらのレンタルサーバ」は法人向けのサービスラインアップをそろえ、オプションサービスの拡充と取次店制度を導入し既存サービスの販売拡大と強化に取り組む
- 認知拡大で想起集合入りを目指す
当社社員が講師を務めるウェビナーやユーザー会を積極的に開催、展示会ブースにも立ち、市場や顧客のニーズ、需要を確実に捉える取り組みを推進

8月に約2,000基の収益化達成。引き合い増加により更なる追加投資を決定

当初予定を大きく上回る計算資源の需要に対応し、計画前倒しで合計154.9億円の追加投資を決定

2024年9月「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」800基、2024年10月「NVIDIA H200 Tensor コア GPU」1,072基、
「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」40基の追加投資を決議、旺盛な生成AI開発需要に応える



○ … 予定

短納期・高収容・電源の高密度化を備えたコンテナ型データセンターを今期中に竣工



石狩データセンターに構築中のコンテナ型データセンター

4号棟予定地に
構築中



取り組み内容

GPUクラウドの迅速なサービス提供に向けて、 コンテナ型データセンターを構築中

● 短期間で決断、着工を可能にしたポイント

- ・ 石狩データセンターにおける増床予定地の確保
- ・ 受電用変電設備能力の余力
- ・ 自社データセンターの構築・運営における長年の経験・ノウハウ
- ・ データセンターアドバイザリーサービスで提供する当社の最新技術の知見

● 採用冷却方式

- ・ コールドプレート水冷（DLC）※1方式を採用
- ・ コールドプレート水冷だけではカバーできない部分はInRow空調※2を併用

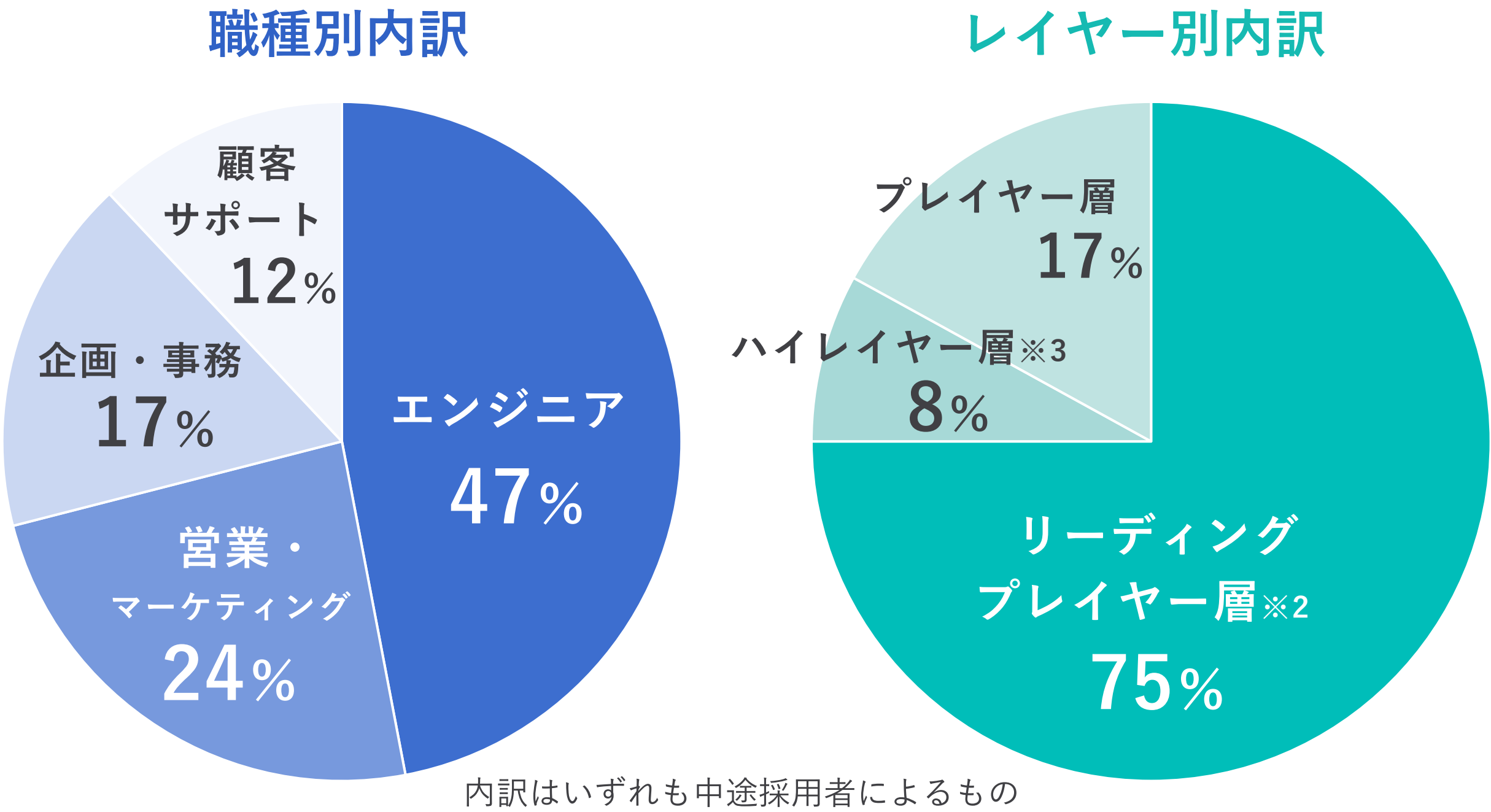
● 今後も、石狩データセンターの敷地内にコンテナ型データセンターを構築予定（第2期：2025年、第3期：2026年）

※1 サーバー外部から冷却液を供給、GPUにコールドプレートを接触させて冷却する（Direct Liquid Cooling）

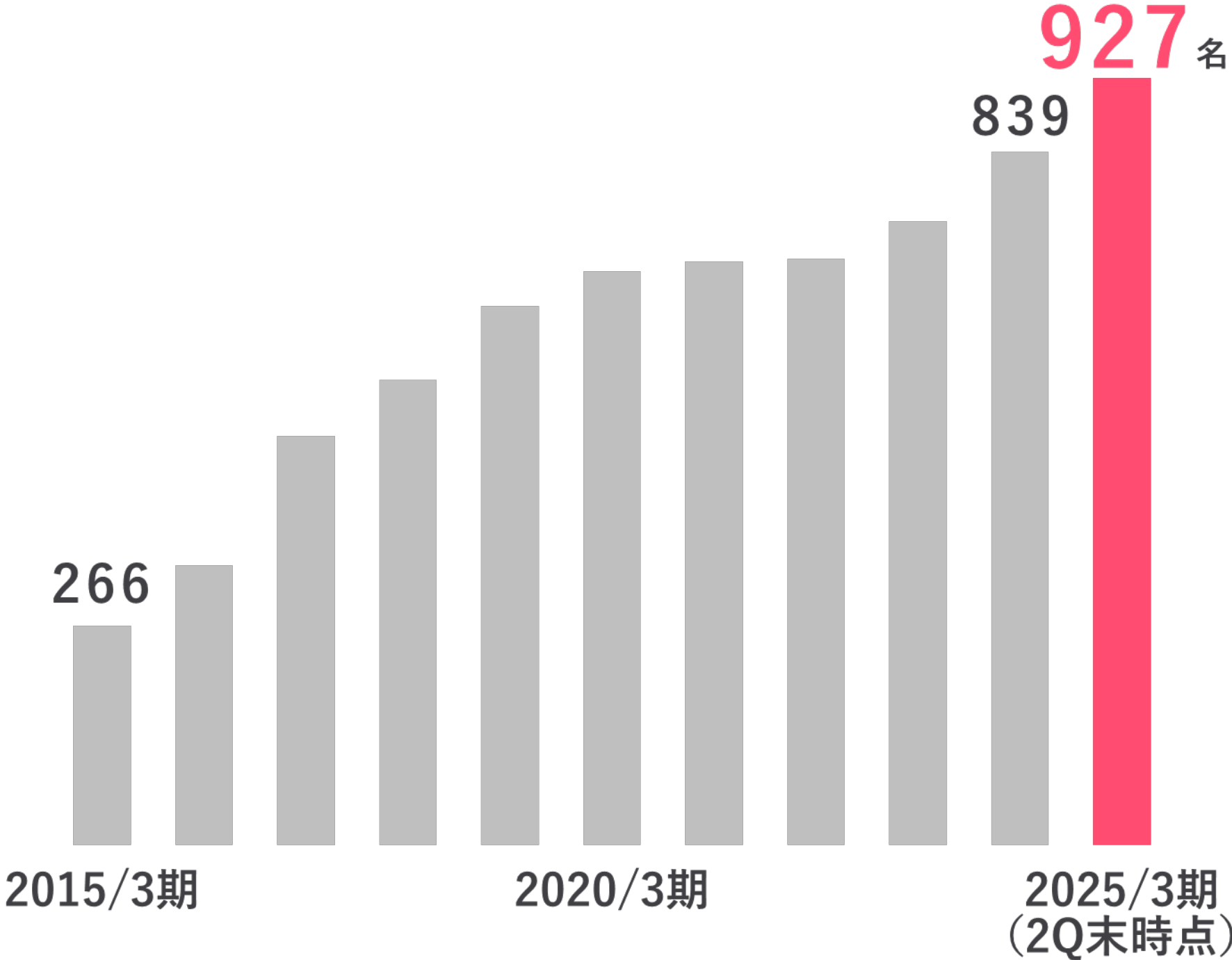
※2 空調機を使用する空調方式

今期200人規模の採用を計画、上半期で **122名**※1を獲得（進捗率61%）
成長戦略の推進を加速するため、8割をリーディングプレイヤー※2以上で採用

当期採用実績



人員数推移（連結）



※1 年度内入社予定を含む
※2 高い専門性と実行力をもち、事業・組織全体の成長・変革をけん引する人材
※3 専門性と実行力をもち、担当領域をリードする人材

ブルーミングキャンプ
コミュニケーション施設「Blooming Camp」を大阪に開所、
オープンイノベーションの創出を目的とし、本社も同施設内に移転（9月）

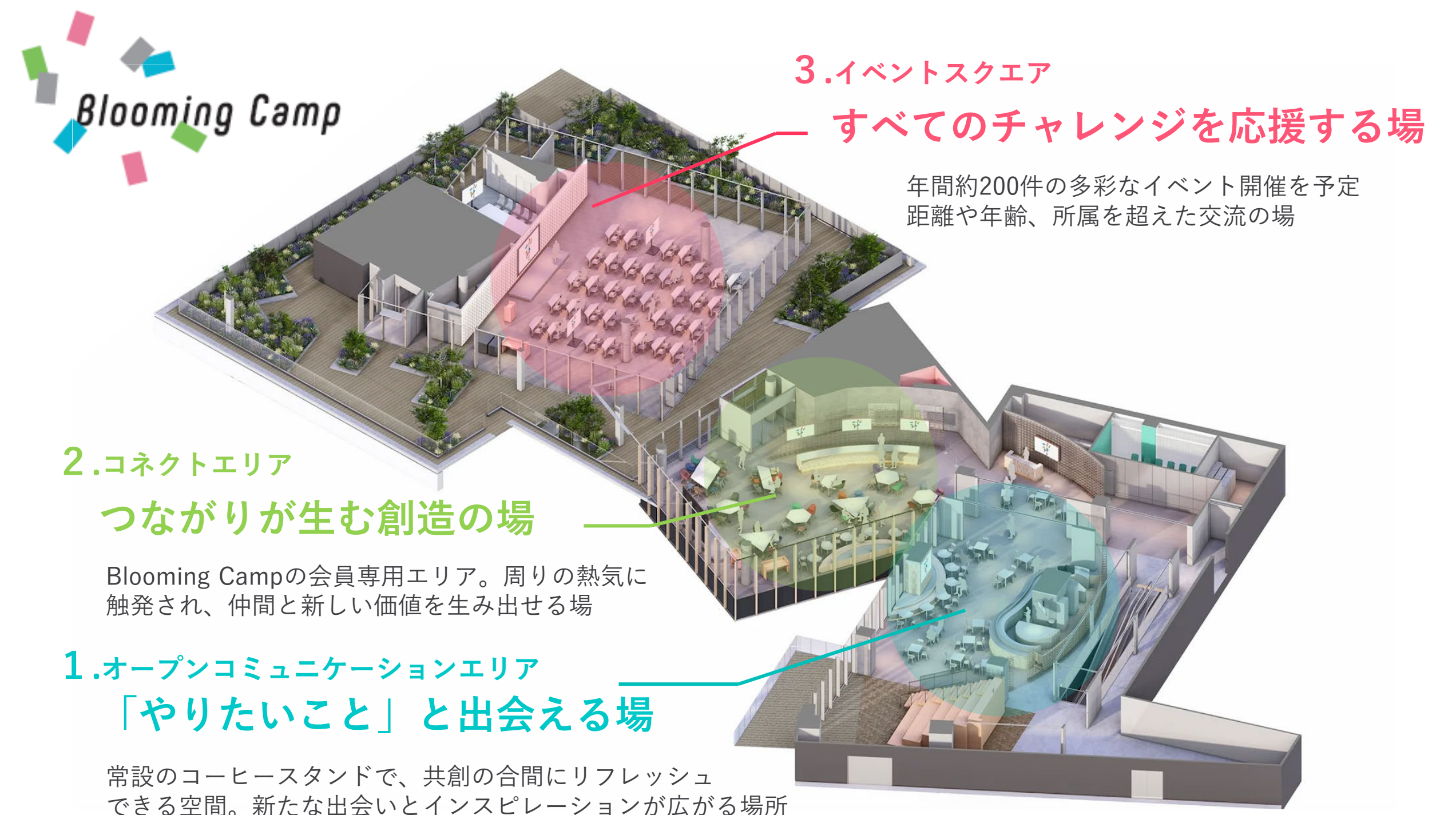
「『みどり』と『イノベーション』の融合拠点」の実現をめざすグラングリーン大阪で、人材や資本が集まる立地特性を生かし、新たな事業創出を支援
 本施設に集まる多様な人々のコミュニケーションの「場」と「機会」を創出し、関西ひいては日本社会のイノベーションに寄与

熱量を共鳴させ、新しい一步を踏み出す場へ

- 「WANT/やりたいこと」と「HOW/得意なこと」を混ぜ合わせ、「CHALLENGE/やってみる」を生み出すことをめざす、シーズメンバー（会員制度）
- コミュニティマネージャーが常駐し、シーズメンバーの挑戦を支援する各種プログラムやイベントを提供
- 業種や規模を問わず、企業各社の「やりたいこと」を巻き込んで、ステークホルダーへ。Blooming Campと当社をハブに、連携・共同活動を企画



▲2024年10月 イベント開催風景（コネクトエリア）

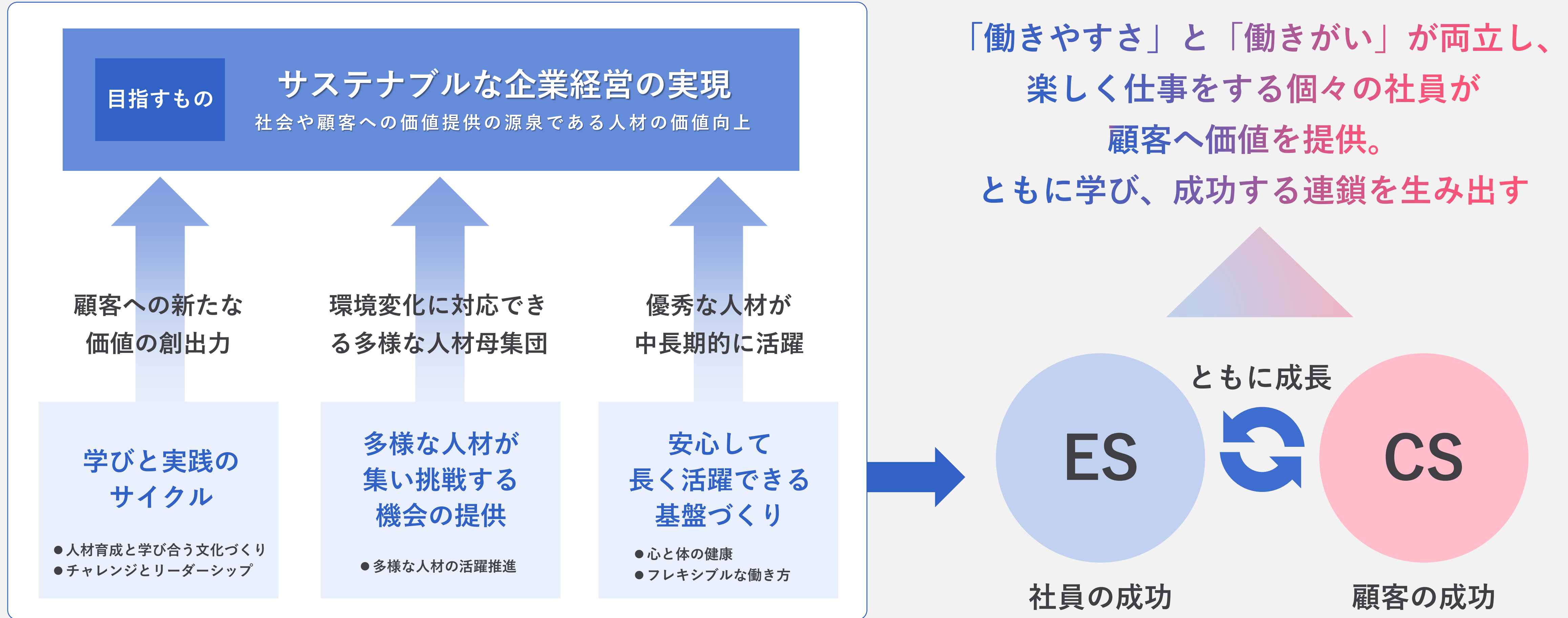


appendix

ESG経営への取り組み

人的資本経営への取り組み 全体像

「やりたいこと」を「できる」に変える、サステナブルな企業経営へ



人的資本経営への取り組み（学びと実践のサイクル）

デジタル分野の人材育成：学生、企業に向けて

日本のデジタル競争力の低下※を背景に、デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023改訂版）におけるデジタル人材の育成・確保の課題に取り組むデジタルを前提とした新しい社会づくりのために、当社の強みであるクラウドサービス等を通じ、デジタル分野を推進する人材の発掘・育成に寄与

クラウドを学ぶ検定を通した教育機会の提供

デジタル技術を基礎から実践まで幅広く学べる、 「さくらのクラウド検定」が初の検定試験を開催

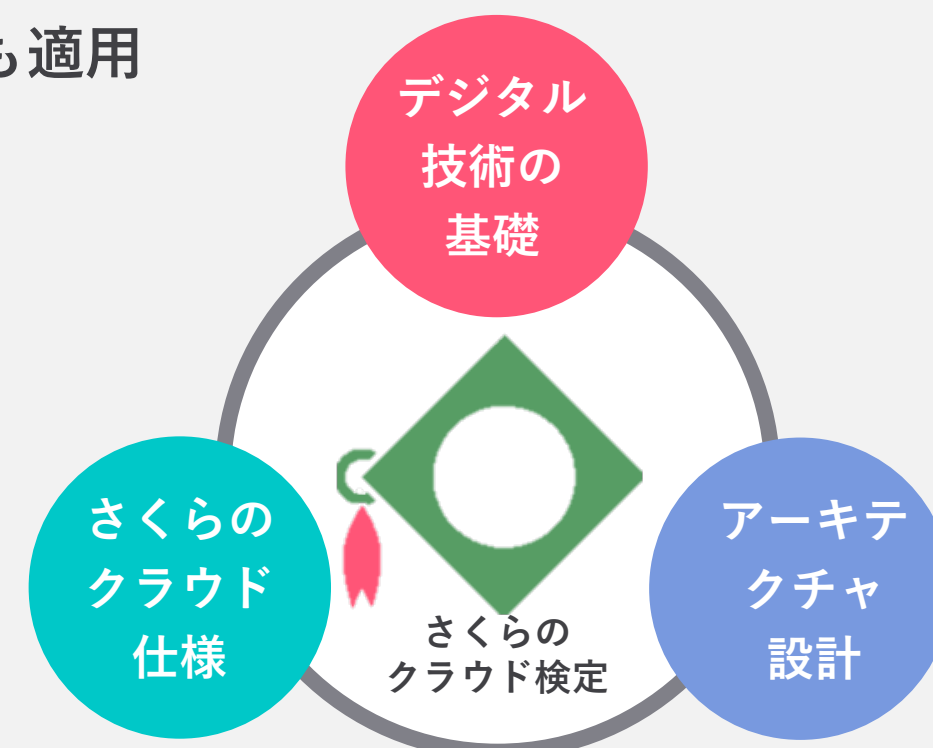
2024年9月開催の初回検定では学生を含む336名が受検し、242名の合格者が誕生
「さくらのクラウド検定」は、DX教育のスタンダードコンテンツとしての定着を目指し、教育コンテンツを無償化することで受検者の学習コストを低減。受検費用には学生料金も適用

▼合格証書・合格認定ロゴ

※実際に提供される合格証明書とはデザインが異なる場合があります。



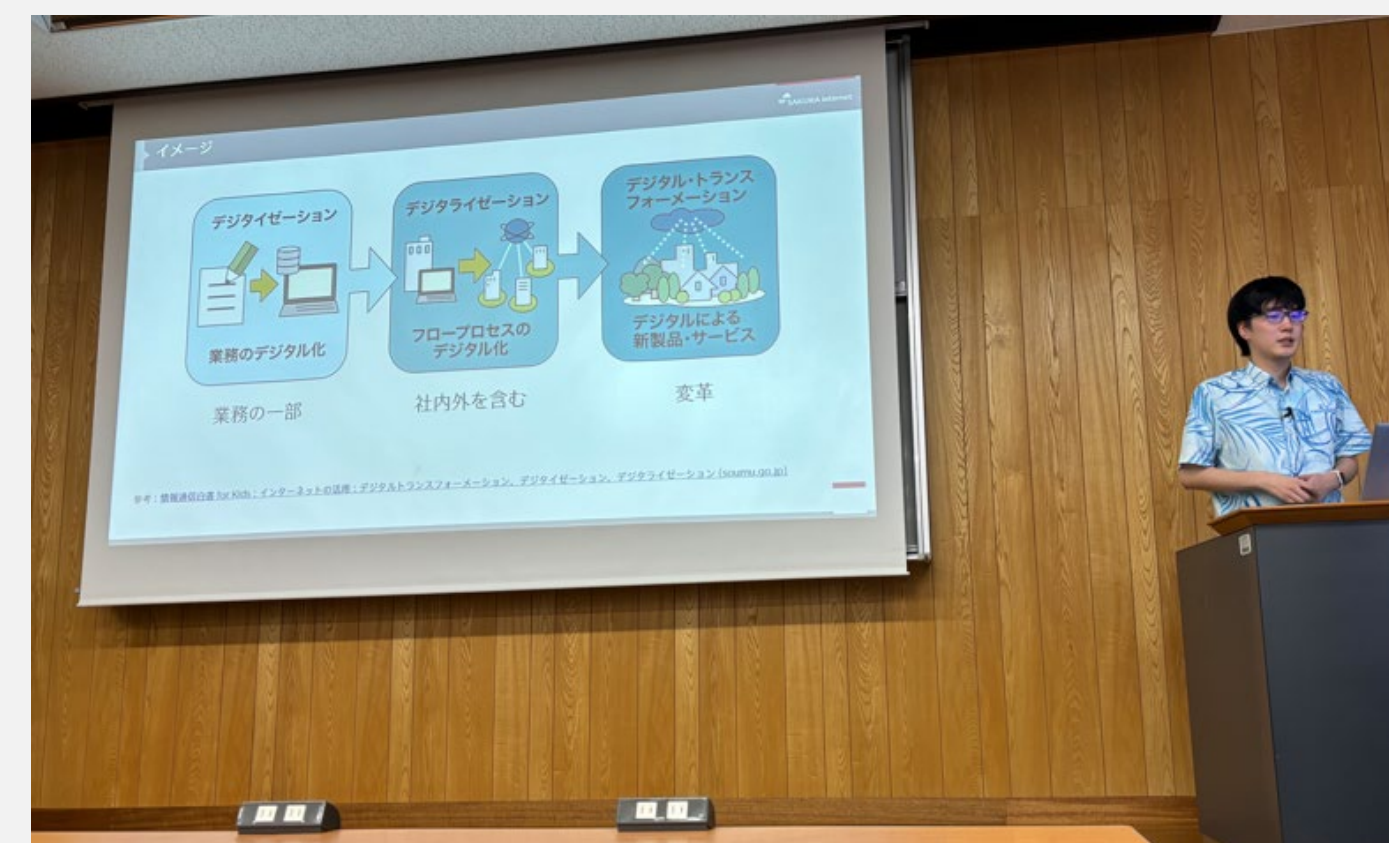
※参考：IMD World Competitiveness Centre「世界デジタル競争力ランキング2023」 日本は世界主要国64ヶ国中総合32位。「デジタルスキル」では63位。
<https://www.imd.org/centers/wcc/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness-ranking/>



高専支援プロジェクトによる実践教育

国立高等専門学校機構との包括連携協定締結を背景に、 より実践的な教育機会の提供を継続

当社執行役員や社員が中心となり、「実践」を重視した出前授業を全国の高専で行うほか、課外活動等での計算資源の提供でもサポート



▲夏季集中講座「デジタル人材リテラシー」での一コマ

実施概要

- 対象高専数 9校
阿南高専、石川高専、高知高専 等
- 開催回数 26回
- 授業内容
(座学、ハンズオン、グループワーク)
 - ・ クラウド基礎
 - ・ コンテナとDocker 等

人的資本経営への取り組み（学びと実践のサイクル）

デジタル分野の人材育成：学び続ける機会の提供

デジタルを前提とした新しい社会づくりのために、当社の強みであるクラウドサービス等を通じ、デジタル分野を推進する人材の発掘・育成に寄与
当社社員はもちろん、次世代を担う学生、ビジネスパーソンからアスリートまで学ぶ機会を提供

社員が学び続ける機会の提供

「Di-Lite」※の資格取得を推奨

エンジニアに限定せず、すべての社員のデジタルスキル習得・向上を目的としたITパスポート試験を入りに、データサイエンティスト検定、G検定を含む「Di-Lite」※の資格取得を推奨し、生成AI領域を含むDXをリードする人材を支援

※Di-Lite：「デジタルを使う人材」であるために、全てのビジネスパーソンが、共通して身につけるべきデジタルリテラシー範囲



成長支援のためのプログラム

キャリア相談から自由に受講内容を選択できる外部動画研修など、成長したい、学びたい社員を積極的にサポート

- キャリア相談窓口 相談員：有資格者4名を含む、部門や経験の異なる8名
- 外部動画学習サービス 利用実績：発行アカウント数325、受講動画数925（※2024年5月～9月）
- 資格取得の費用補助
 - ・ 教本購入費用全額補助、資格試験受験費用全額補助（※合格時）
- 有償生成AIサービスの利用費用全額補助（※ITパスポート試験の合格者を対象）



リスキングの機会提供

アスリートのセカンドキャリアとスキル構築を支援 選手を対象にプログラミング教室を開催

2024年4月、女子サッカーチーム「FC琉球さくら」※のオフィシャルトップパートナーに就任。スポーツ選手の抱えるセカンドキャリア問題の解決および沖縄県のDX人材育成の一助として、ITスキルに限らないビジネス上必要なスキルの獲得を支援



「FC琉球さくら」は10月に2024年度KYFA九州女子サッカーリーグ2部で初優勝し、1部昇格を決定

- プログラミング教室の開催
外国籍やU-15の選手も含む約30名が参加し、選手自身も初めてのプログラミングに挑戦した（7月）



※FC琉球さくら：琉球フットボールクラブ株式会社運営の女子サッカーチーム。九州女子リーグ2部で活動。1部昇格が決定している

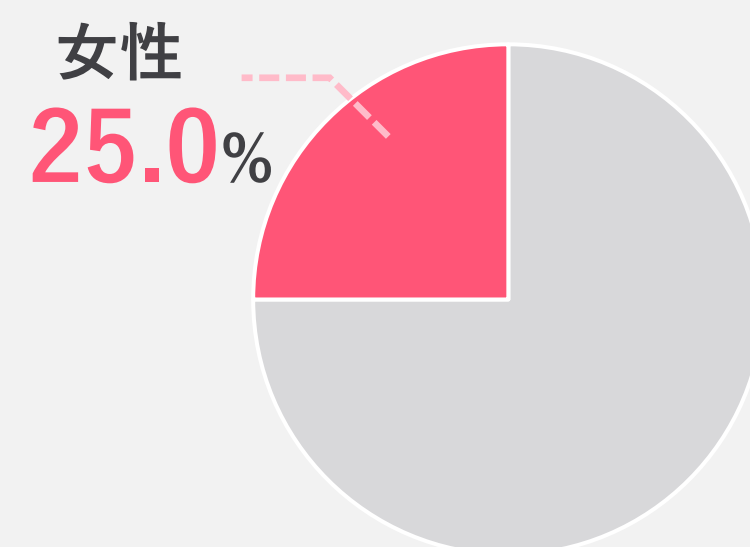
人的資本経営への取り組み（多様な人材が集い挑戦する機会の提供）

経営層・ハイレイヤー層の拡充と多様化を通じ、経営機能強化と事業・業務の変革を目指す

経営機能の強化と未来の経営人材育成

執行役員増員を通じた業務執行体制の強化により、経営人材育成と同時に経営機能を強化
女性執行役員の登用が経営層の多様性を高めるとともに、次世代の女性のロールモデルになることも期待

執行役員含む女性役員※比率



※取締役・監査役・執行役員

※役員構成・人数は2024年9月30日時点

事業・業務の変革のための人材強化

事業はもちろん企業規模も拡大を続ける中、中途採用は事業の中核を支えるリーディングプレイヤー以上が中心に。
従来の枠組みの打破や新たな価値の創出を先導する、業界トップレベルのスペシャリストも獲得

スペシャリストの活躍領域

- ネットワークマネジメントのスペシャリスト
- データエンジニアリングで活躍、複数社でのCTO経験
- 大手IT企業でエンジニアリングマネージャーなどを歴任
- 国内・海外大手IT企業での営業責任者を歴任

…など

CASE 全社ネットワークの再設計プロジェクトの責任者としてさくらにJOIN

ネットワーク領域のスペシャリストとして、米国CDN事業者でのグローバルネットワーク運用を始めとした、国内外での経験を持つ。2024年6月に、当社社員の紹介によりJOIN。入社後は、当社が提供するサービスのネットワーク設計・運用業務から、テーマや課題発見にも取り組む

土屋 太二（2024年6月入社）▶
クラウド事業本部 プラットフォーム部所属



フルリモートワーカーであり、当社では週4日勤務。残りの時間は、5年ほど活動している技術情報などの動画配信や書籍執筆などの副業に充てている。現在は月刊誌「Software Design」（技術評論社）にて「インターネットの姿をとらえる」を連載

YouTubeチャンネルの撮影風景。（左）当社社員の土屋▶



人的資本経営への取り組み（安心して長く活躍できる基盤づくり）

「働きやすさ」と「働きがい」の両立

在宅勤務やパラレルキャリア等を推進する社内制度をはじめとした、フレキシブルな働き方を支援する取組みを継続
ワーキングパパ・ママにも働きやすい環境やキャリア形成支援体制を拡充し、従業員の女性比率向上や女性管理職の積極登用等にも注力

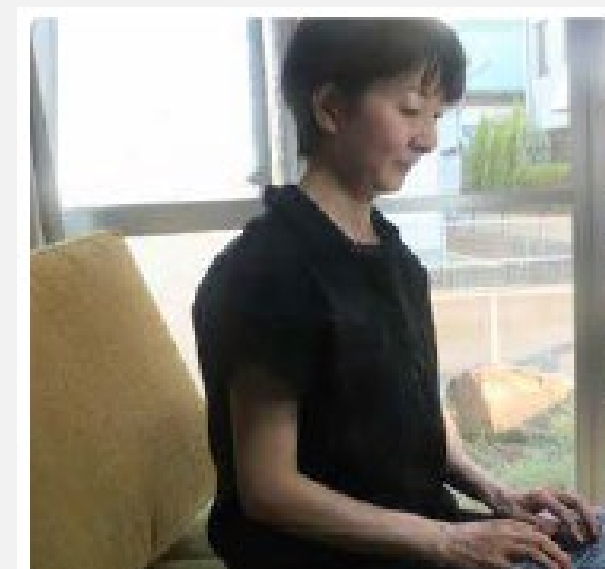


データに基づく人材活用

● 人事ダッシュボードの導入による、データドリブンな人材活用

社員の職位分布や役職別男女別割合などがリアルタイムに確認できる人事ダッシュボードを導入。役職者以上に常時公開することで、それぞれが必要なタイミングで人材に関するデータを分析し、人員配置や採用方針などの人事施策の検討・判断に活用。経営の迅速な意思決定にも貢献

CASE 故郷へUターン、フルリモートで働く



フルリモートでの採用を行う一方、既存の社員も故郷へUターンするなど、働き方の多様化が進む
顧客からの問い合わせ対応を担当する桃田は、キャリア相談員や上司に背中を押され、東京から故郷の香川県へ移住。現在はフルリモートで働いている

◀ 桃田 智絵 クラウド事業本部 カスタマーリライアビリティ部所属
2005年に派遣社員として入社後、2006年に正社員となり労務業務を担当
2017年にグループ会社のアイティーエム株式会社へ人事担当として出向を経験後
2019年に帰任し、2021年以降はカスタマーサポートに従事

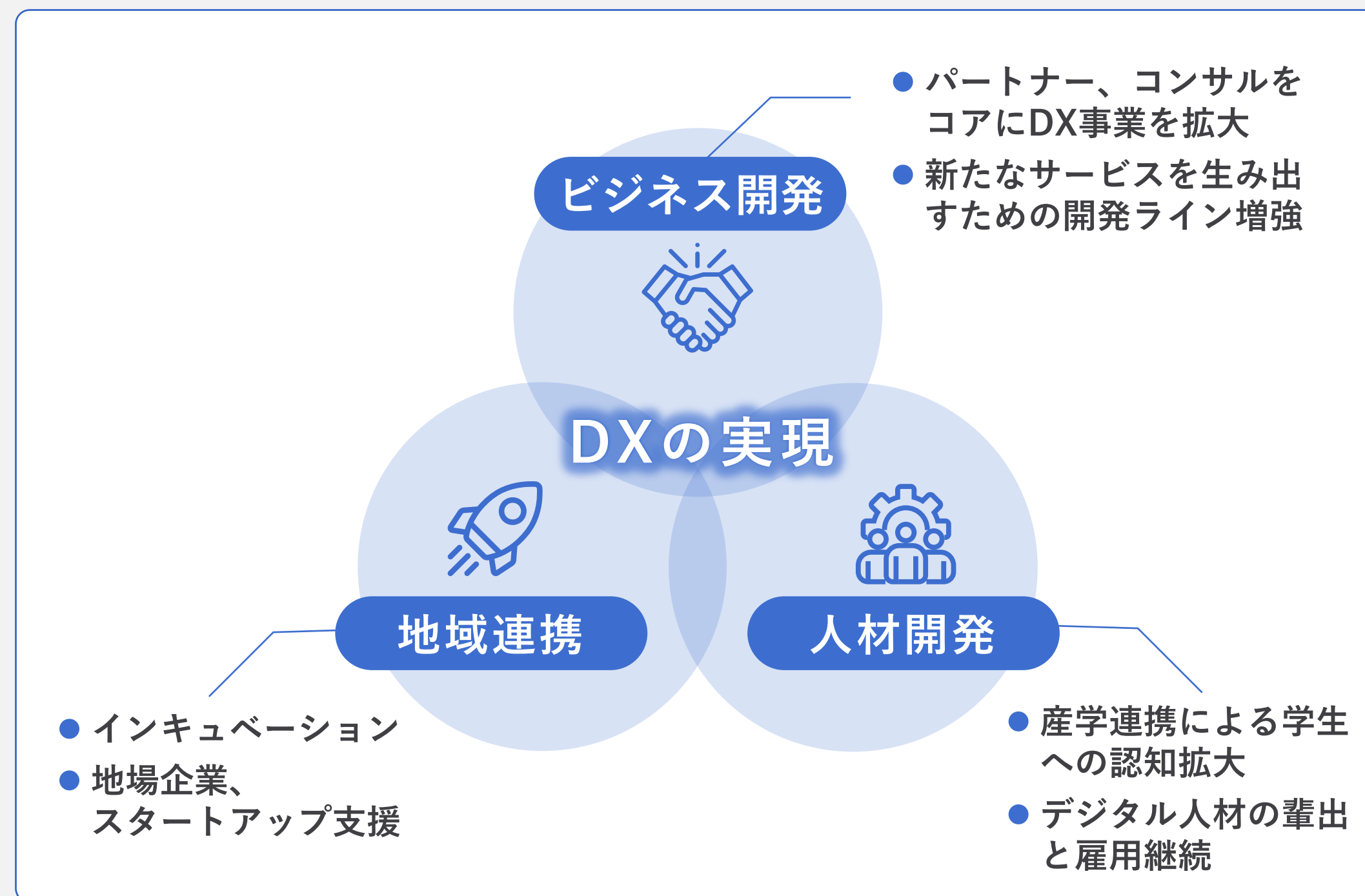
次世代起業家の挑戦を支え、オープンイノベーションの取り組みを各地から

地方創生とデジタルイノベーションの創出

オープンイノベーションを起こすための取り組みを加速

[デジタル化][教育][地方創生][スタートアップ支援]に注力し、デジタルを前提とした新しい社会を実現

オープンイノベーションを目的とした拠点



コミュニケーションの場を創造

福岡

2017年2月開所



スタートアップ支援



大阪

グラングリーン大阪・JAM BASE内
2024年9月6日開所

自由に人が集いつながる場として
オープンコミュニケーションエリア
イベントスクエア・コネクタエリアからなる
オープンイノベーション施設：
「Blooming Camp」を開設し、
年間200回を超えるイベント開催を予定

沖縄

SAKURA innobase Okinawa

2023年9月開所



地場採用の拡大

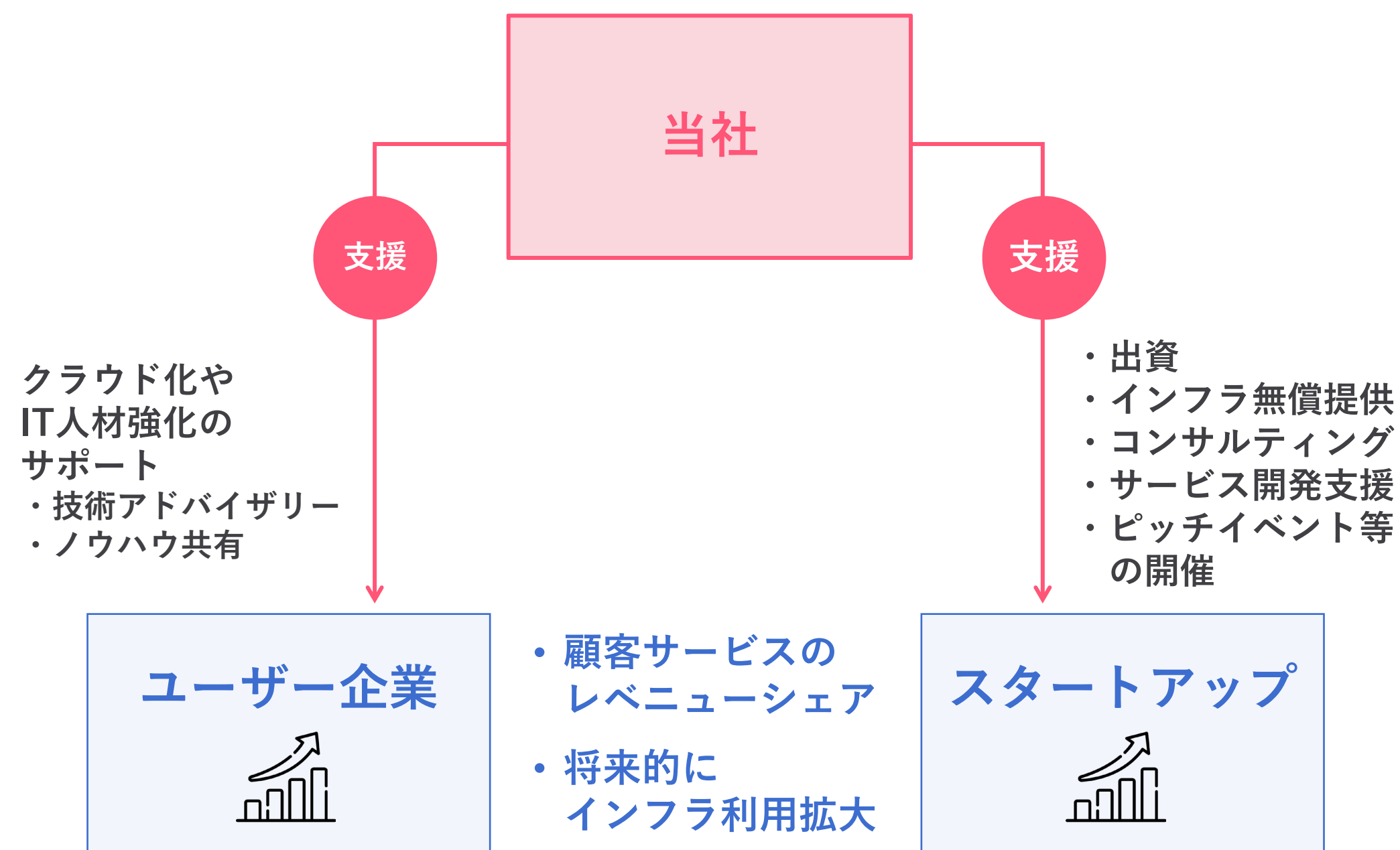
ESG経営の取り組みを弊社コーポレートサイトでご紹介しています。ぜひご覧ください <https://www.sakura.ad.jp/corporate/work/>

次世代起業家の挑戦を支える多面的サポートを推進

スタートアップ支援

スタートアップへの出資・開発支援

挑戦する企業の成長支援を通して社会のDX化を推進



スタートアップ共創プログラム「Link up」を提供開始

スタートアップが事業を展開するために必要な基盤を支え、成長を加速するためのインフラストラクチャー展開に必要なリソースをオールインワンで提供



01 環境提供

ビジネス規模や成長にフィットするさくらのクラウドを最大1,000万円分、最大1年間まで提供。ImageFlux、高火力GPUサーバ、さくらのIoTも対象



さくらのIoT

02 技術協力

お問い合わせの優先的なサポートや各分野の専門家とのミーティング機会の提供などで成長をサポート

- テクニカルアドバイス
- ハンズオン・イベント
- 専用窓口

03 事業支援

パートナー企業との意見交換や提案の場、イベント共催などの機会を提供し、課題の解決を後押し

- パートナー企業との提携支援
- プロモーション機会の提供
- スタートアップ担当とのメンタリング

環境に配慮した取り組み：石狩データセンター

当社事業に不可欠なデータセンターは、サーバの稼働及び冷却に大量の電力を消費し、さらに近年の大規模言語モデルの急発展等によって運用される高性能サーバの消費電力も増大※。当社はデータセンターにおける消費エネルギーの削減と脱炭素実現に取り組むことで、サステナブルな社会づくりに貢献

脱炭素と消費電力量削減に取り組む

クラウドコンピューティングに最適化した日本最大級の郊外型大規模データセンター・石狩データセンターは、開所当初より、環境に配慮しサステナビリティを高める取り組みを積極的に行っている



▲石狩データセンター外観（正面：3号棟、左：1・2号棟）

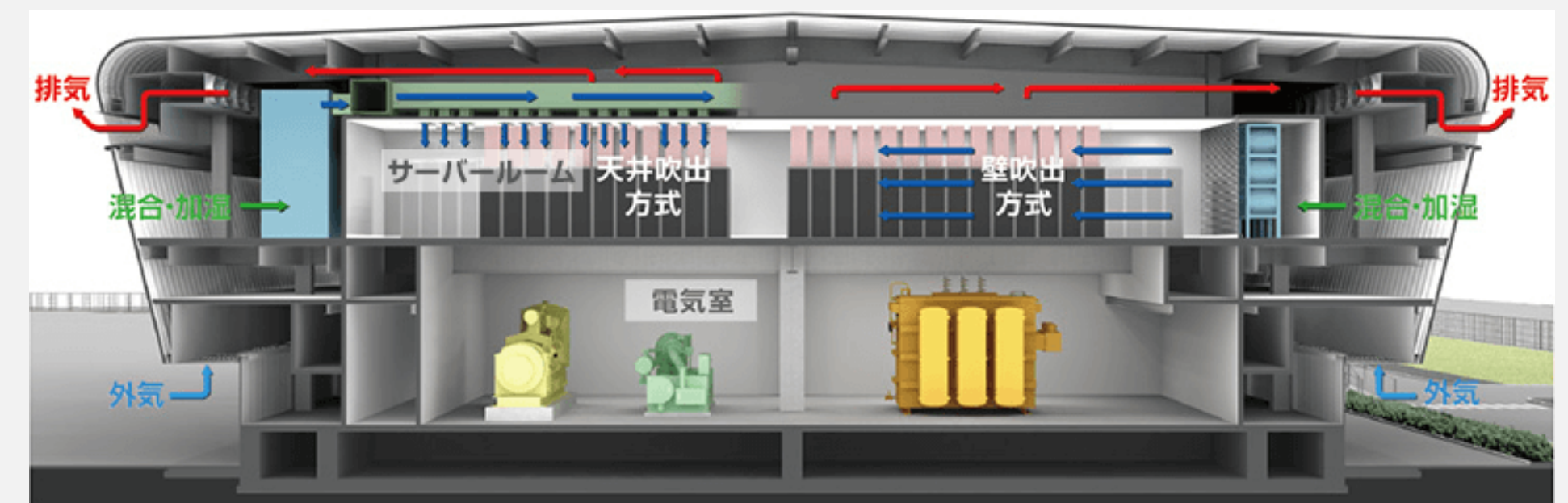
※参考：IEA（International Energy Agency：国際エネルギー機関）「Electricity 2024」 世界のデータセンターの消費電力量は2026年に2022年の2倍以上 <https://www.iea.org/reports/electricity-2024>

再生可能エネルギー100%を保持

脱炭素に向けた取り組みとして、2023年6月から水力発電を中心とした再生可能エネルギー電源へと変更したことにより、石狩データセンターにおいて二酸化炭素(CO2)の年間排出量はゼロへ

空調にかかる消費電力の大幅削減

北海道の寒冷な空気を利用して、冷涼な外気をサーバールーム内に取り込む「直接外気冷房方式」と、室外機と空調機の間を循環する冷媒を外気で冷やす「間接外気冷房方式」を導入している。一般的な都市型データセンターと比べて、約4割の消費電力を削減



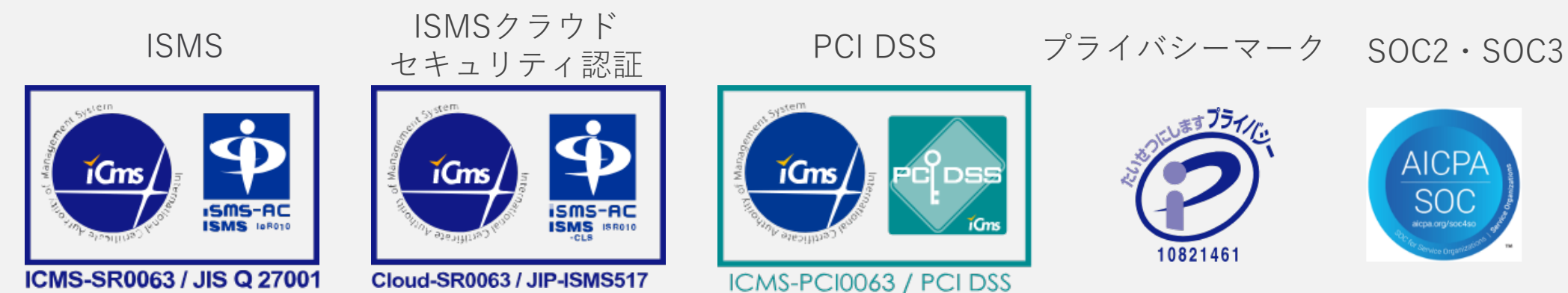
▲石狩データセンター外気空調システム概念図

セキュリティ関連の取り組み

情報セキュリティの維持・向上

各種認証制度への登録

- 総合的な情報セキュリティマネジメントシステムであるISMSを全社適用し、継続的に情報セキュリティ水準を強化
- 2021年12月には「さくらのクラウド」が「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（※）」（通称：ISMAP）に登録



※日本政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを、運営委員会があらかじめ評価・登録する制度

CASE 透明性レポートの提供

インターネットの安全性や品質の向上のため、個人情報保護法、プロバイダ責任制限法等をはじめとする関係法令やガイドラインを遵守し、捜査機関からの情報開示要請に対応。2023年8月より、要請を記録した数と対応数を透明性レポートとして公開し、透明性を確保している

サイバーセキュリティへの取り組み

CSIRT

- SAKURA.SIRT（さくらサート）を設立し、日本シーサート協議会に加盟。
【お客さまとインターネットそのものを安全に】をモットーに、専門技術者とともに社内外と連携してセキュリティ関連情報や情勢を把握・活用



CASE GSE (GIAC Security Expert) 資格の取得

当社社員の扇沢 健也（情報システム統括室 SIRT所属）が、ITセキュリティ分野で最難関資格の1つであるGSE※を取得。この資格は実技試験を含む10資格の取得が必要であり、扇沢は全世界で377番目の認定者となった

※GSE：GIAC Security Expert。情報セキュリティの資格試験を開発、配信している GIAC が提供している資格試験のうち、6つの Practitioner Certification と4つの Applied Knowledge Certification の取得が必要。すべて英語で行われ、Applied Knowledge Certification は実技試験のみである。



社外役員・独立役員の活用とコーポレート・ガバナンスの強化

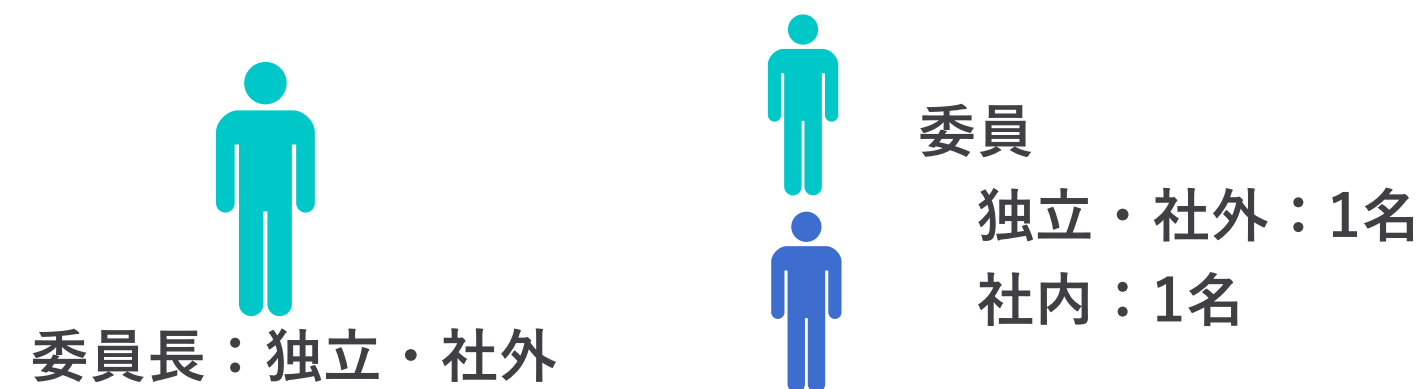
指名報酬委員会の設立と社外役員、独立役員の選任状況

指名報酬手続きの公正性・透明性・客観性を強化

● 独立社外取締役を中心とした任意の諮問機関

取締役会の任意の諮問機関として、指名報酬委員会を設置。
独立社外取締役が委員の過半数を占め、かつ委員長を務めることで、取締役および監査役の指名・報酬、その関連事項に関する取締役会の機能に対し、これまで以上にガバナンスを効かせる

指名報酬委員会の構成

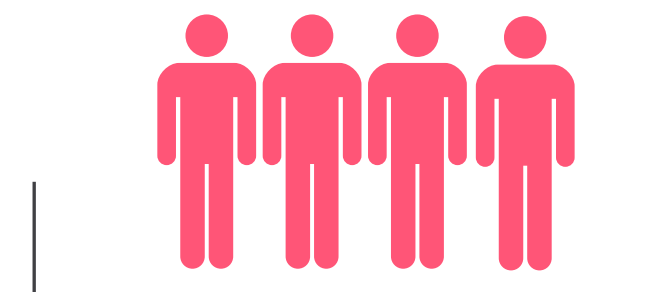


取締役・監査役の選任方針を決定

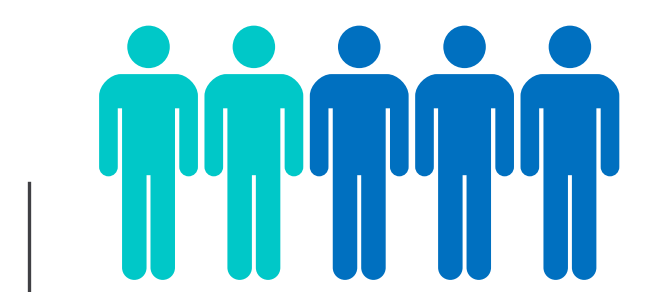
指名報酬委員会による検討・提案を受けて取締役会で議論の上、取締役・監査役の選任方針を決議。取締役・監査役それぞれに求める経営能力・人間性について定めるとともに、取締役における独立社外取締役比率を1/3以上に定義

● 取締役会における社外役員・独立役員比率（※2024年9月30日現在）

取締役9名

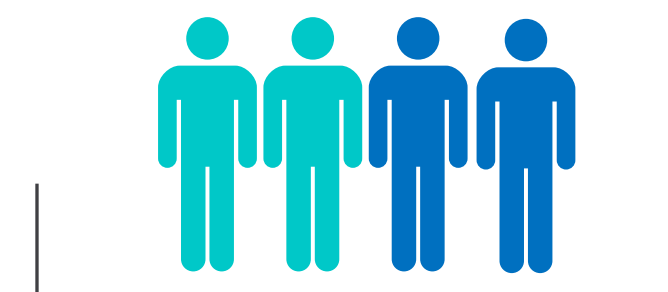


社内4名



社外5名（独立3名）

監査役：4名



社外4名（独立2名）

社外役員比率：69%

（監査役の社外比率100%）

独立役員比率：38%

appendix

データ/会社概要

(金額：百万円)								
サービスカテゴリー	'24/3期				'25/3期		前四半期比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	増減額	増減率 (%)
クラウドサービス	3,096	3,152	3,204	3,320	3,375	3,437	61	1.8
構成比(%)	60.6	60.2	60.3	53.8	56.9	46.9		
クラウドインフラストラクチャー	2,125	2,177	2,238	2,282	2,354	2,362	8	0.4
クラウドアプリケーション	971	974	965	1,038	1,021	1,075	53	5.2
物理基盤サービス	881	906	901	900	932	935	2	0.3
構成比(%)	17.3	17.3	17.0	14.6	15.7	12.7		
GPUクラウドサービス	—	—	—	201	427	1,591	1,163	272.4
構成比(%)	—	—	—	3.3	7.2	21.7		
その他サービス	1,127	1,179	1,209	1,745	1,200	1,371	171	14.3
構成比(%)	22.1	22.5	22.8	28.3	20.2	18.7		

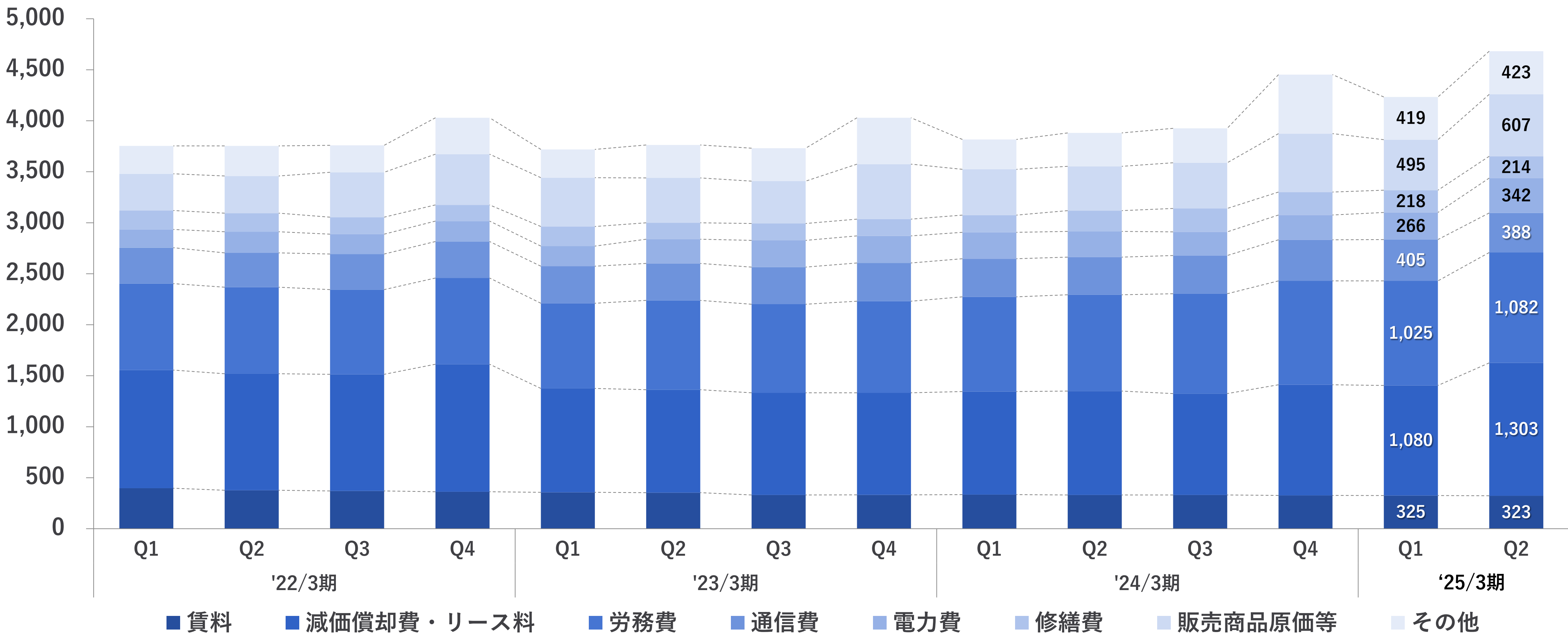
・クラウドインフラストラクチャー：主にクラウドサービス、VPSサービス
・クラウドアプリケーション：主にレンタルサーバサービス、アプリケーションサービス
・物理基盤サービス：ハウジング、専用サーバサービス
※2025年3月期より新たに「GPUクラウドサービス」のサービスカテゴリーを追加したことに伴い、2024年3月期Q4の数値を組み替えております。

（金額：百万円）

科目	'24/3期				'25/3期		前四半期比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	増減額	増減率（％）
売上高	5,105	5,237	5,315	6,167	5,935	7,335	1,400	23.6
売上原価	3,819	3,884	3,929	4,457	4,236	4,685	448	10.6
売上総利益	1,285	1,353	1,385	1,710	1,698	2,650	951	56.0
販管費	1,181	1,208	1,186	1,274	1,467	1,586	119	8.1
営業利益	104	145	199	435	231	1,064	832	359.1
営業利益率（％）	2.0	2.8	3.7	7.1	3.9	14.5		
経常利益	73	99	147	444	95	1,006	911	957.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	108	66	128	347	41	668	626	1,501.9
EBITDA	852	901	955	1,363	1,032	2,212		

主要原価の内訳

(単位：百万円)



2025年3月期 投資の状況

(単位：億円)

投資内容	通期予算	Q2実績
データセンター	56	3
サーバ、ネットワーク機器	117	86
その他（システム、事務所関連等）	7	4
合計	181	95

※金額は1億円未満切り捨て

■サーバ、ネットワーク機器の実績内訳

クラウドサービス	物理基盤サービス	GPUクラウドサービス	その他	実績合計
5	1	(※) 79	0	86

(※) 圧縮記帳前の金額

2025年3月期 人員数

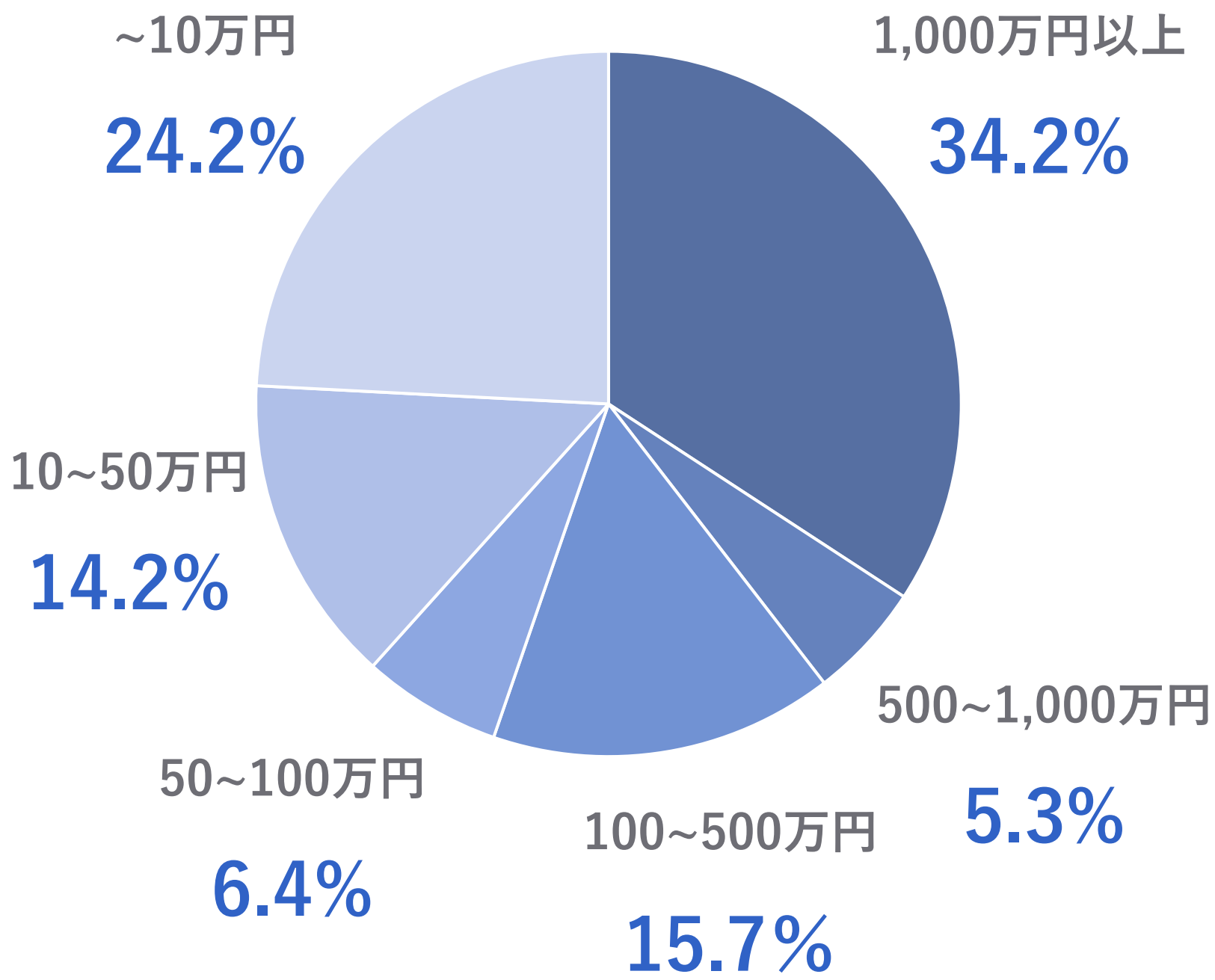
前期末より 88名増		[採用人数の状況]	
		'24/ 3末	'25/ 3 Q2
従業員数※		839	927
■ 増減内訳		増減（人）	
当社	エンジニア	+36	
	営業・販促・新規企画	+ 22	
	管理	+6	
グループ会社		+24	
計		88	

※従業員数は当社から他社への出向者を除く他社から当社への出向者を含む
就業人員となります
グループ会社の増加には、会社分割に伴う当社からTellus社への異動による
増加を含んでおります

売上構成が小口、大口に分散され、特定の業種・属性に依存しない顧客構成

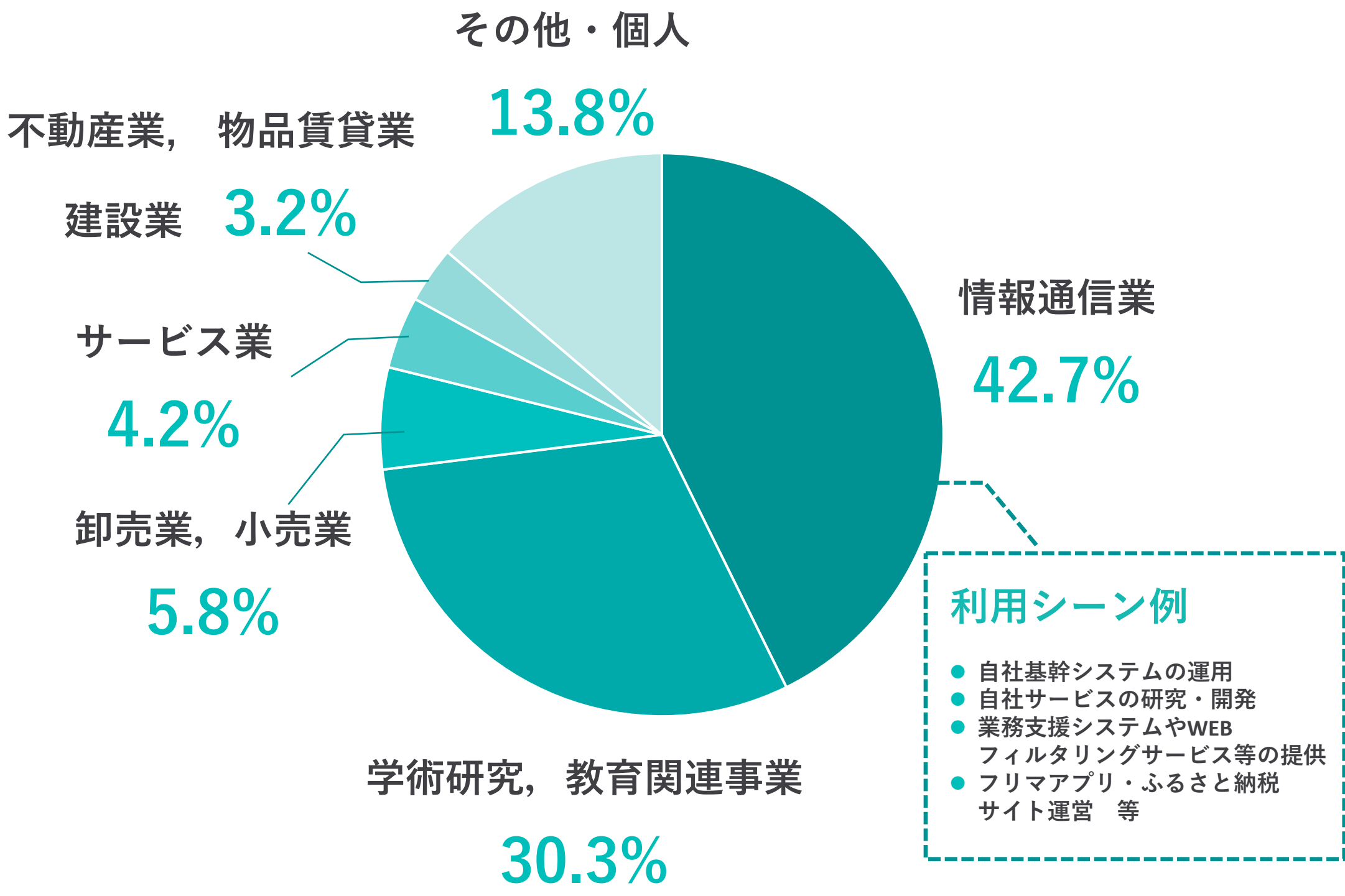
月額料金別データ

(売上構成比)



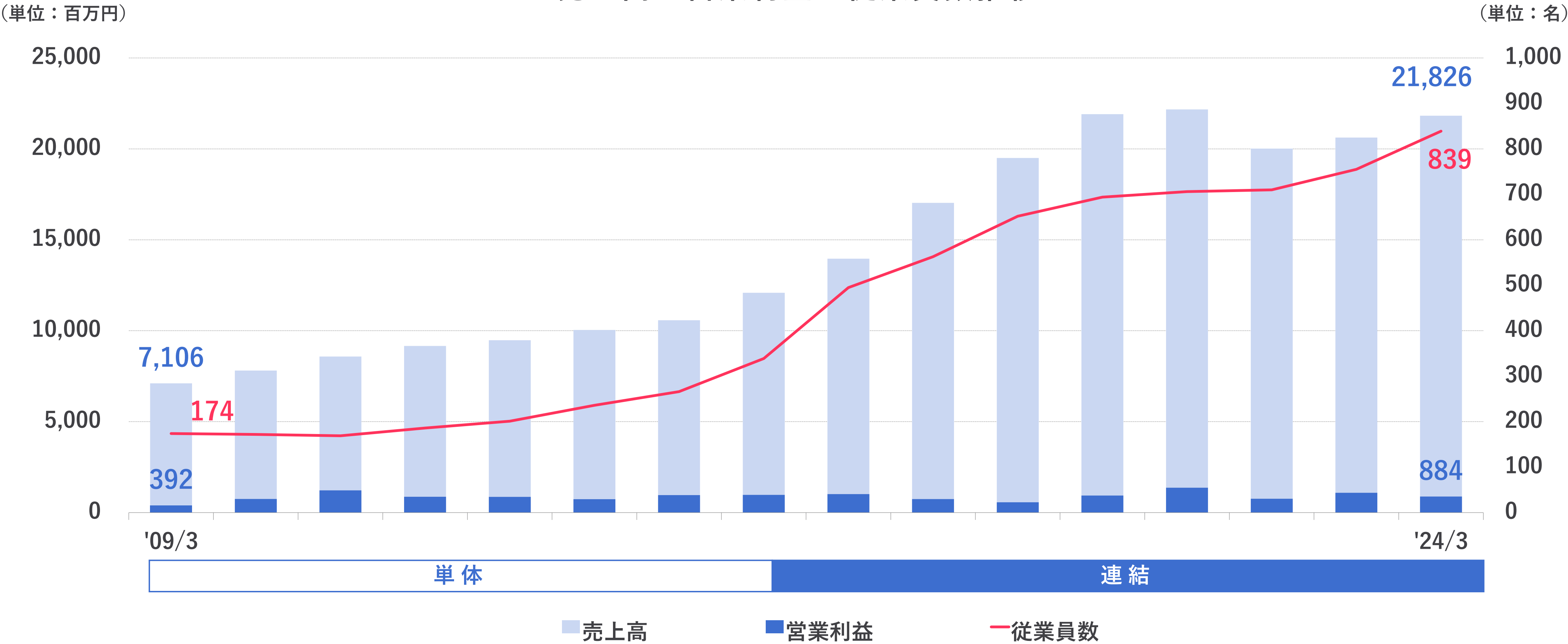
顧客構成データ

(売上構成比)



※さくらインターネット単体のみを対象に集計しております

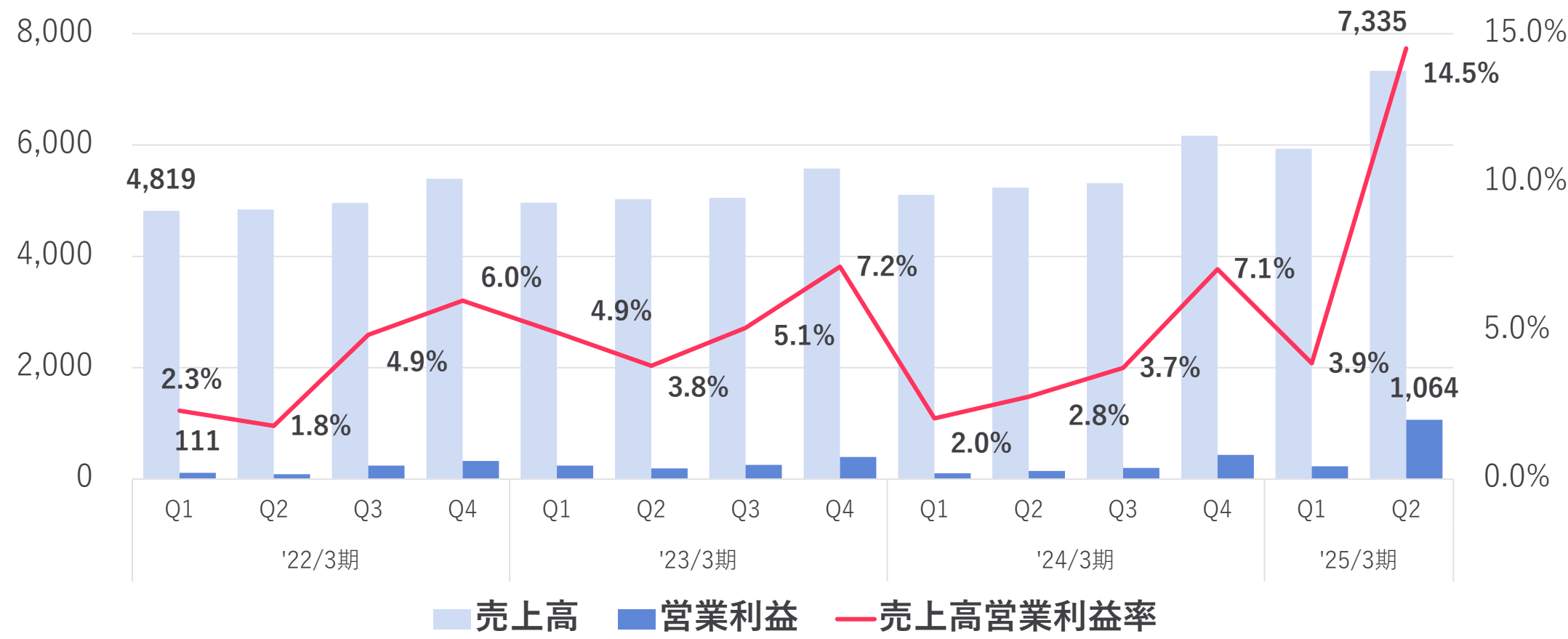
売上高・営業利益・従業員数推移



※ 2015年3月期以前は単体決算数値を、2016年3月期より連結決算数値を記載しております

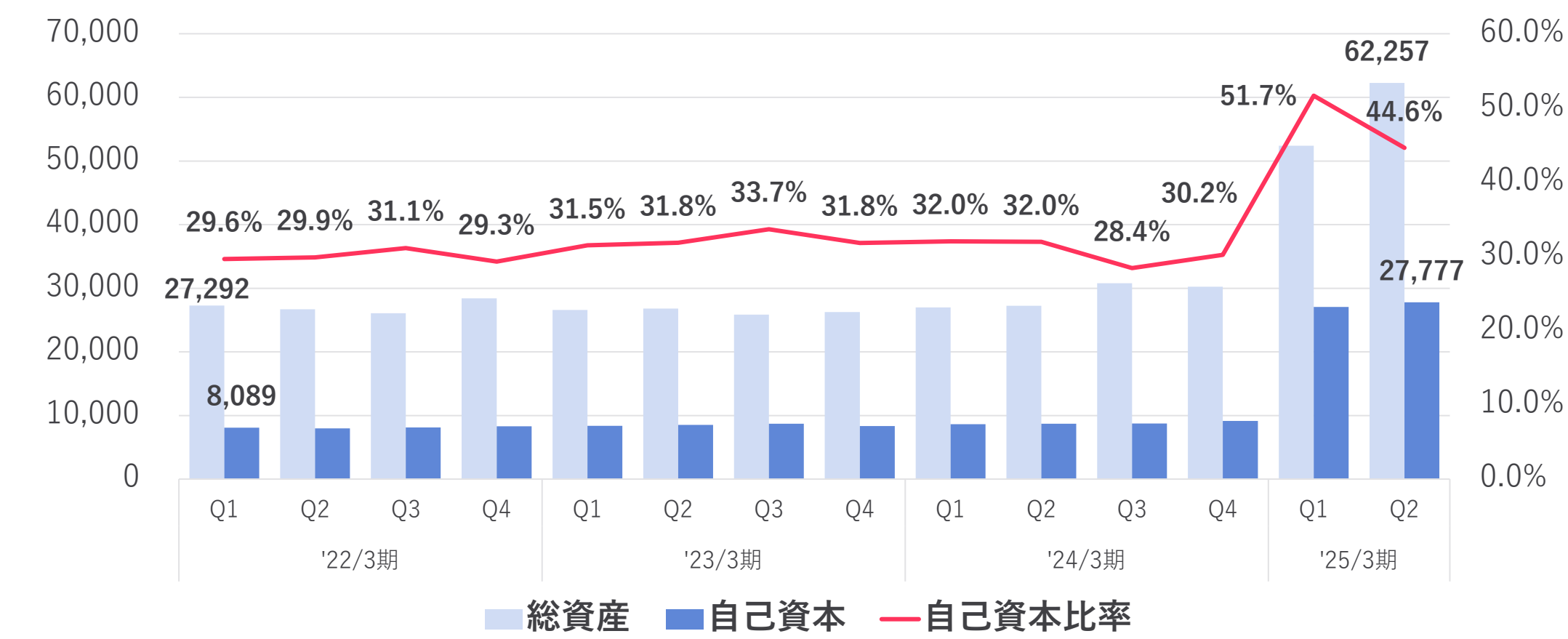
(単位：百万円)

売上高営業利益率



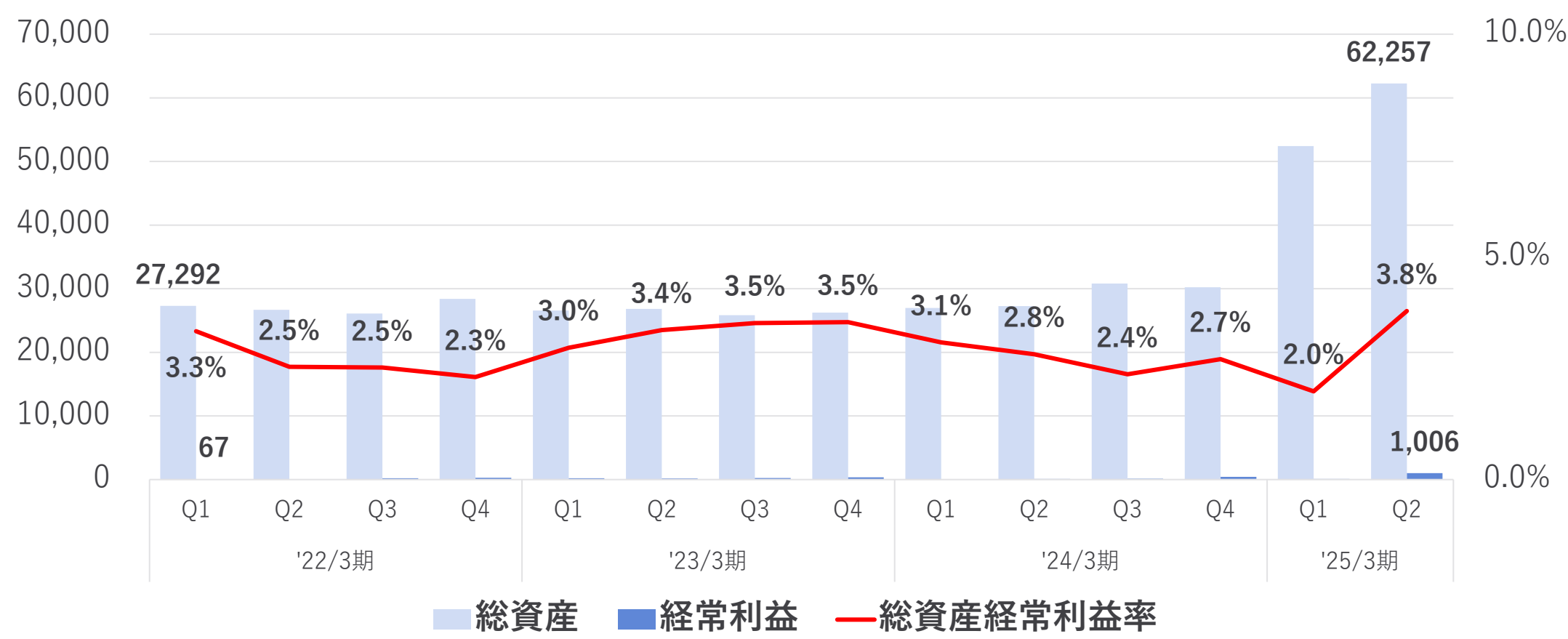
(単位：百万円)

自己資本比率

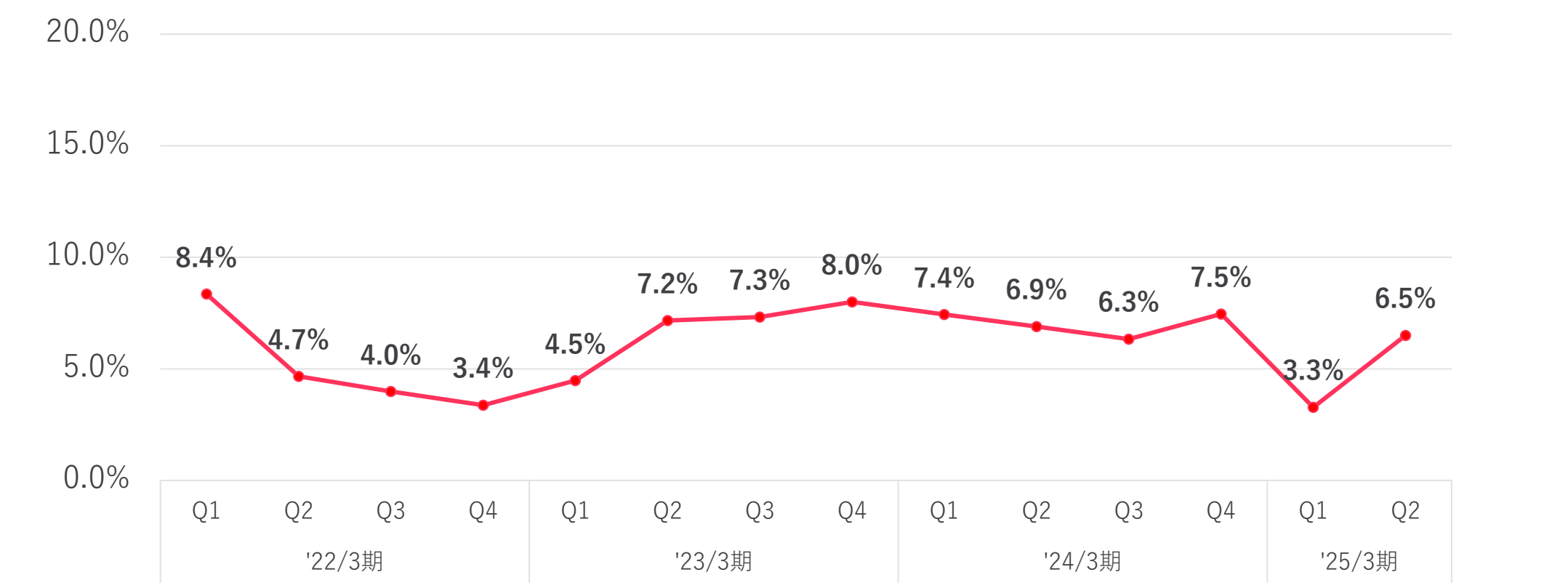


(単位：百万円)

総資産経常利益率



ROE



沿革

- 1996

○

さくらインターネット創業

1996年12月に現社長の田中邦裕が、
舞鶴高専在学中に学内ベンチャーとして創業
- 1999

○

株式会社を設立 / 最初のデータセンター開設

1999年8月に株式会社を設立。10月には、第1号となる
データセンターを大阪市中央区に開設
- 2005

○

東証マザーズ上場

2005年10月に東京証券取引所マザーズ市場に上場
- 2011

○

石狩データセンター開設

2011年11月、北海道石狩市に国内最大級の
郊外型大規模データセンターを開設
- 2015

○

東証一部に市場変更

2015年11月に東京証券取引所市場第一部に市場変更
- 2021

○

創業25周年

2021年12月、創業25周年
- 2022

○

東証プライム市場へ移行

東京証券取引所 新市場区分のプライム市場へ移行

会社概要

商 号	さくらインターネット株式会社
本社所在地	大阪府大阪市北区大深町6番38号
創業年月日	1996年12月23日 (会社設立は1999年8月17日)
上 場 年 月 日	2005年10月12日 (マザーズ) 2015年11月27日 (東証一部 (現プライム市場) へ市場変更)
資 本 金	112億8,316万円
従 業 員 数	927名 (連結)

(※2024年9月末日現在)



■IRに関するお問い合わせ先

IR情報 お問い合わせフォーム

<https://www.sakura.ad.jp/corporate/ir/contact/>

E-mail : ir@sakura.ad.jp

当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基づいており、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。